

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 7,553 円
支出年月日 平成 31 年 1 月 29 日	
使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要	
支出内容 平成 31 年 1 月分 電話料金及びインターネット料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 <u>8,393</u> 円 按分率 <u>90</u> %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方 電報料金 4,848 円をさしひく

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

お客様請求番号 BILLING NUMBER		請求年月 MONTH OF ISSUE
---------------------------	--	------------------------

ご請求内訳 (お客様番号)

内訳項目 CHARGE BREAKDOWN BY CATEGORY	金額(円) AMOUNT (YEN)	内訳金額(円) AMOUNT (YEN)	請求内訳等 DETAILS OF CHARGE BREAKDOWN
◇NTT西日本ご利用分 12,311	3,200 -570		フレッツ 光ネクスト M利用料 光ももっともっと割
	1,020		ひかり電話A(エース)定額料1
	480		ひかり電話A(エース)定額料2
	200		複数チャンネル使用料
	100		追加番号使用料
	256		ひかり電話(通話料)
	-256		ひかり電話A(エース)定額料分通話
	2,296		ひかり電話(携帯電話等への通話料)
	31		ひかり電話(IP電話への通話料)
	4,490		電報料
	4		ユニバーサルサービス料
	100		発行手数料
	50		収納手数料
	910		消費税等相当額(合計)

◇NTTコミュニケーションズご利用分 54	552 (358)	(内訳) 消費税等相当額(合算分) (内訳) 消費税等相当額(個別分)
	50	ナビダイヤル/テレドーム等への通話料
	4	消費税等相当額(合計)

電話料金等払込受領証
西日本ご利用分ご請求先氏名
山下 昌彦 様

お客番号

2019年 1月ご請求分

金額(円)
¥13,241-受取人
NTTファイナンス株式会社お問い合わせ先(無料)
0800-333555037843
19.1.29
西三野四丁目
ファミリーマート収入印紙貼付欄
(金融機関・CVS等)→お客様

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 19,440 円
	支出年月日 平成31年1月31日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年1月分 来客用駐車料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 21,600 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥109,666		
10 H31 1月分 1.31	¥110,775		
11			
12			

上記金正に領収しました

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番10号

株式会社三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

請求内訳書

発行日: 2019年1月21日

伝票番号

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番10号

電話: 06-6391-5566(代)

振込先: リソナ銀行 三田支店

普通預金

平成31年1月21日

合計金額 ¥110,775

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	1	69,336	
	共益費		11,566	
	電気料		4,894	
	空調ガス料金		3,389	
	駐車場代		21,600	✓
	合計		110,775	

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 11,664 円 支出年月日 平成31年2月4日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 0
支出内容 平成31年2月分 FAX・コピー リース料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 12,960 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

領収書は、領収書の用紙に記入し、領収書の裏面に貼付してください。
 お支払可能額が小切手等の種類により異なります。お支払は必ずこの額をください。
 のお振替の下記項目における金額・残高の単位について
 (項目名) お支払金額・お預り金額・差引残高
 ・外貨普通預金の場合は、通貨見直し部に記載された通貨単位となります。
 ・その他の預金の場合は、円単位となります。

2

店番 口座番号

123

山下昌彦事務所 山下 昌彦様

りそな銀行

普通預金通帳



RESONA

整理番号

領収書等貼付用紙

費 目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 6,668 円 支出年月日 平成 31 年 2 月 26 日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支 出 内 容 平成 31 年 2 月分 電話料金・インターネット料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 7,409 円 按分率 90 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

領収書等添付欄

電話料金等払込受領証

西日本ご利用分

ご請求先氏名
山下 昌彦 様

お客様番号

2019年 2月ご請求分

金額(円)
¥7,409-

受取人
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)
0800-3335550

領 取 日 附 印
37843
19.2.26
西三郡四丁目
収入印紙貼付欄
(金融機関・CVS用)→お客様

領収書等貼付用紙

費目	※該当する費目に✓をつける	支出額	※政務活動費充当額を記入 19,440 円
☐ 調査研究費 ☐ 資料作成費 ☐ 人件費 ☐ 要請・陳情活動費	☐ 研修費 ☐ 資料購入費 ☒ 事務費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 事務所費	支出年月日 平成31年2月28日	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年2月分 来客用駐車料金			

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 21,600 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

請求内訳書

 発行日: 2019年2月21日
 伝票番号:

山下昌彦事務所 殿

 株式会社 三国ビルディング
 〒532-0006
 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 電話: 06-6391-5566(代)
 振込先: リソナ銀行 三国支店
 普通預金

平成31年2月21日

合計金額 ￥112,928

日付	内 訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	2	69,336	
	共益費		11,556	
	電気料		5,599	
	空調ガス料金		4,837	
	駐車場代		21,600	✓
合 計			112,928	

家賃及共用費等領収通帳

4 階403号

職業

氏 名 山下昌彦事務所 殿

領 収 年 月 日	領 収 金 額	受領印	摘 要
1 H30 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥109,666		
10 H31 1月分 1.31	¥110,775		
11 H31 2月分 2.28	¥112,928		
12			

上記金正に領収しました

取扱者印

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

株式会社三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 8,192 円
	支出年月日 平成 31 年 3 月 25 日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成 31 年 3 月分 電話料金・インターネット料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 9,103 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方 ※電報料金 4,589 円差引く (電話料金は来月に知事選・市長選・統一選挙の按分 50%)

お客様ご請求番号 BILLING NUMBER	請求年月 MONTH OF ISSUE	2019年 3月ご請求分
ご請求内訳 (お客様番号)		
内訳項目・金額(円) ONTT西日本ご利用分 12,816	内訳金額(円) AMOUNT (YEN) 3,200 620 1,020 480 200 100 464 -464 3,084 4,250 4 100 50 948 609 339	請求内訳等詳細 (本内訳は、各サービス提供事業者が発行したものです) フレッツ 光ネクスト M利用料 2月1日～2月28日 光もっともっと前 2月1日～2月28日 ひかり電話A(エース)定期料 2月1日～2月28日 ひかり電話A(エース)定期料 2月1日～2月28日 教養手帳利用料 2月1日～2月28日 知照書利用料 2月1日～2月28日 ひかり電話(通話料) 2月1日～2月28日 ひかり電話A(エース)定期料 2月1日～2月28日 ひかり電話(通話料等への通話料) 2月1日～2月28日 電報料 2月1日～2月28日 ユニバーサルサービス料 2月1日～2月28日 預貯手数料 2月1日～2月28日 取替手数料 2月1日～2月28日 消費税率追徴(合計) 2月1日～2月28日 (山形・消費税率追徴(合計)) 2月1日～2月28日 (内訳) 消費税率追徴(個別分) 2月1日～2月28日 ONTT OCN光w FTTbフレッツ利用料等 2月1日～2月28日 NTTコミュニケーションズご利用分 合計 <NTTファイナンスからのお知らせ> O上取・印はサービス提供者によって、ご請求をさせていただきます。
ONTT西日本(小計) 12,816	12,816	
ONTTファイナンスご利用分 876	876	
合計 13,692	13,692	

電話料金等払込受領証 西日本ご利用分 ご請求先氏名 山下 昌彦 様
お客様番号 2019年 3月ご請求分 金額(円) ¥13,692-
受取人 NTTファイナンス株式会社
お問合せ先 (無料) 0800-3335550
領収日 印 37543 19.3.25 収入印紙貼付欄 (金融機関・CVS用)→お客様

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☒ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 16,356 円 支出年月日 平成31年3月28日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年3月分 来客用駐車料金	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 21,600 円 按分率 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方 ※3/21～3/31は知事選・市長選・統一選挙の為按分50%とする。 3/1～3/20の20日間90% 12,528 円 3/21～3/31の11日間50% 3,828 円

請求内訳書

発行日: 2019年3月21日

伝票番号

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

電話: 06-6391-5566

振込先: リソナ銀行 三国支店

普通預金

平成31年3月21日

合計金額 ￥109,062

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	3	69,336	
	共益費		11,556	
	電気料		5,149	
	空調ガス料金		1,421	
	駐車場代		21,600	✓
合 計			109,062	

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 4月分 4.27	¥710,559		請求書No. ~ 明細書
2 5月分 5.31	¥111,116		
3 6月分 6.29	¥121,385		
4 7月分 7.31	¥123,021		
5 8月分 8.31	¥122,498		
6 9月分 9.28	¥122,397		
7 10月分 10.31	¥116,179		
8 11月分 11.30	¥109,272		
9 12月分 12.28	¥109,666		
10 1月分 1.31	¥110,775		
11 2月分 2.28	¥112,928		
12 3月分 3.21	¥109,062		

上記金正に領収しました

取
扱
者
印

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

株式会社 三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

領収書等添付一覧(山下 昌彦)

(平成 30 年度)

費目名	⑨事務所費			
年月日	支 出 内 容	支 出	備 考	整理番号
平成30年4月27日	事務所家賃4月分	¥80,063	88,959円×90%	
平成30年5月31日	事務所家賃5月分	¥80,564	89,516円×90%	
平成30年6月29日	事務所家賃6月分	¥89,806	99,785円×90%	
平成30年7月31日	事務所家賃7月分	¥91,278	101,421円×90%	
平成30年8月31日	事務所家賃8月分	¥90,808	100,898円×90%	
平成30年9月28日	事務所家賃9月分	¥91,617	101,797円×90%	
平成30年10月31日	事務所家賃10月分	¥85,121	94,579円×90%	
平成30年11月30日	事務所家賃11月分	¥78,904	87,672円×90%	
平成30年12月28日	事務所家賃12月分	¥79,259	88,066円×90%	
平成31年1月31日	事務所家賃1月分	¥80,257	89,175円×90%	
平成31年2月28日	事務所家賃2月分	¥82,195	91,328円×90%	
平成31年3月28日	事務所家賃3月分	¥66,293	選挙中按分	
合 計		¥996,165		

※領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙としてご活用ください。

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 80,063 円
	支出年月日 平成30年 4月 27日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年 4月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 88,959 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳				
4 階403号				
職業				
氏名 山下昌彦事務所 殿				
領収年月日	領収金額	受領印	摘要	
1 4月 4.27	¥110,559		請求書No. ~ 明細書	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
上記金正に領収しました				
取扱者印	平成 年 月 日	大阪市淀川区西三国4丁目6番1号 株式会社三国ビルディング 電話 (06) 6391-5566		
社印及取扱者印なきものは無効とす				

請求内訳書

発行日: 2018年4月21日

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング
 〒532-0008
 大阪市淀川区西三国4丁目6番19号
 電話 06-6391-5566(代)
 振込先: 三井住友銀行 三国支店
 普通預金

平成30年4月21日

合計金額 ¥ 110,559

日付	内 訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	4	69,336	
	共益費		11,556	
	電気料		7,280	
	空調ガス料金		787	
	駐車場代		21,600	
	合 計		110,559	

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 80,564 円
	支出年月日 平成30年 5月 31日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年 5月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 <u>89,516</u> 円 按分率 <u>90</u> %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳

4 階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
平成30年4月29日	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
平成30年5月31日	¥111,116		

上記金正に領収しました

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

株式会社三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

請求内訳書

発行日: 2018年5月21日

伝真番号

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング
 〒532-0006
 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 電話 06-6391-5566(代)
 振込先: リソナ銀行 三国支店
 普通預金

平成30年5月21日

合計金額 111,116

品目	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	5	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		6,305	✓
	空調ガス料金		2,319	✓
	駐車場代		21,600	
	合計		111,116	

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 89,806 円
	支出年月日 平成30年6月29日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年6月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 99,785 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	

請求内訳書

山下昌彦事務所 殿

発行日: 2018年6月29日

伝票番号: 担・当

株式会社 三国ビルメンテナンス

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目5番18号

電話: 06-6391-5566(代)

振込先: リソナ銀行 三城支店

普通預金

平成30年6月29日

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	6	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		7,806	✓
	空調ガス料金		11,087	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		121,385	

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 5月分 5.31	¥111,116		
3 6月分 6.29	¥121,385		
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

上記金正に領収しました



平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目5番18号

株式会社三国ビルメンテナンス

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす



領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 91,278 円
	支出年月日 平成30年 7月31日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年 7月分 事務所家賃(賃料・共益費・ガス・電気)	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 101,421 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 5月分 5.31	¥111,116		
3 6月分 6.29	¥121,385		
4 7月分 7.31	¥123,021		
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

上記金正に領収しました

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

株式会社三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

請求内訳書

発行日: 2018年7月21日

伝票番号 相 当

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング
 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 電話: 06-6391-5566
 振込先: りそな銀行 三田支店
 普通預金

平成30年7月21日

合計 123,021

日付	内 訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	7	69,336	
	共益費		11,556	
	電気料		7,055	
	空調ガス料金		13,474	
	駐車場代		21,600	
	合 計		123,021	

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費		支出額 ※政務活動費充当額を記入 90,808 円
		支出年月日 平成30年 8月 31日
		使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年8月分 事務所家賃(賃料・共益費・ガス・電気)		

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 100,898 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の方

請求内訳書

 発行日: 2018年8月21日
 伝票番号: []

山下昌彦事務所 殿

 株式会社 三国ビルディング
 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 電話: 06-6391-5566
 振込先: リソナ銀行 三国支店 普通預金

平成30年8月21日

日	内 訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	8	69,336	
	共益費		11,556	
	電気料		6,740	
	空調ガス料金		13,266	
	駐車場代		21,600	
	合 計		122,498	

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 4月30日 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 5月30日 5月分 5.31	¥111,116		
3 6月30日 6月分 6.29	¥121,385		
4 7月30日 7月分 7.31	¥123,021		
5 8月30日 8月分 8.31	¥122,498		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

上記金正に領収しました

 平成 年 月 日
 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 株式会社三国ビルディング
 電話 (06) 6391-5566
 社印及取扱者印なきものは無効とす

200

整理番号

領収書等貼付用紙

費 目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 91,617 円 支出年月日 平成 30 年 9 月 28 日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支 出 内 容 平成 30 年 9 月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 101,797 円 按分率 90 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

請求内訳書

発行日: 2018年9月21日

伝票番号: 99-当

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番16号

電話: 06-6391-5566(代)

振込先: リソナ銀行 三国支店

普通預金

平成30年9月21日

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	9	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		7,355	✓
	空調ガス料金		13,550	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		123,397	

家賃及共用費等領収通帳

4 階403号

職業

氏 名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 4月分 4.27	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 4月分 5.31	¥111,116		
3 4月分 6.29	¥121,385		
4 4月分 7.31	¥123,021		
5 4月分 8.31	¥122,498		
6 4月分 9.28	¥123,397		
7			
8			
9			
10			
11			
12			

上記金正に領収しました

取扱者印

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番16号

株式会社 三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 85,121 円
	支出年月日 平成30年10月31日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年10月分 事務所家賃 (賃料・共益費・ガス・電気)	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合 (①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 94,579 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

請求内訳書

 発行日: 2018年10月20日
 伝票番号: 担当

山下昌彦事務所 殿

 株式会社 三国ビルディング
 〒532-0006
 大阪市淀川区西三国4丁目8番13号
 電話: 06-6391-5566
 振込先: リソナ銀行 三国支店
 普通預金

平成30年10月20日

合計金額 ￥116,179

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	10	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		6,335	✓
	空調ガス料金		7,352	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		116,179	

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8			
9			
10			
11			
12			

上記金正に領収しました



平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番13号

株式会社 三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす



領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 78,904 円
	支出年月日 平成30年11月30日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成30年11月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 87,672 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

請求内訳書

 発行日: 2018年11月21日
 伝票番号 担当

山下昌彦事務所 殿

 株式会社 三国ビルディング
 〒532-0008
 大阪市淀川区西三国4丁目8番11
 電話: 06-6391-5566(代)
 振込先: リソナ銀行 三国支店
 普通預金

平成30年11月21日

内訳	摘要	金額	備考
事務所家賃料	11	69,336	✓
共益費		11,556	✓
電気料		6,305	✓
空調ガス料金		475	✓
駐車場代		21,600	
合 計		109,272	

家賃及共用費等領収通帳			
4 階403号			
職業 氏名 山下昌彦事務所 殿			
領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.29	¥ 110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥ 111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥ 121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥ 123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥ 122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥ 123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥ 116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥ 109,272		
9			
10			
11			
12			
上記金正に領収しました			
取扱者印	平成 年 月 日		
大阪市淀川区西三国4丁目8番10号			
株式会社三国ビルディング			
電話 (06) 6391-5566			
社印及取扱者印なきものは無効とす			

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 79,259 円
支出年月日 平成30年12月28日	
使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要	
支出内容 平成30年12月分 事務所家賃(賃料・共益費・ガス・電気)	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 88,066 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.27	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥109,666		
10			
11			
12			

上記金正に領収しました



平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番15号

株式会社三国ビルディング

電話(06)6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

請求内訳書

発行日: 2018年12月21日

伝票番号 担 当

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番15号

電話: 06-6391-5566(代表)

振込先: リソナ銀行 三国支店

普通預金

平成30年12月21日

合計金額

¥ 109,666

日付	内 訳	摘要	金額(円)	備考
	事務所家賃料	12	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		5,479	✓
	空調ガス料金		1,695	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		109,666	

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 80,257 円
	支出年月日 平成31年1月31日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年1月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 89,175 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.29	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥122,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥109,666		
10 H31 1月分 1.31	¥110,775		
11			
12			

上記金正に領収しました

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

株式会社 三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす

請求内訳書

発行日: 2019年1月21日

伝票番号

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番19号

電話: 06-6391-5566(代)

振込先: リソナ銀行 三国支店

普通預金

平成31年1月21日

合計金額 ¥ 110,775

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	1	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		4,894	✓
	空調ガス料金		3,389	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		110,775	

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 82,195 円 支出年月日 平成31年2月28日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年2月分 事務所家賃(賃料・共益費・ガス・電気)	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 91,328 円 按分率 90 %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方

請求内訳書

 発行日: 2019年2月21日
 伝票番号:

山下昌彦事務所 殿

株式会社 三国ビルディング

〒532-0006

大阪市淀川区西三国4丁目8番19

電話: 06-6391-5566

振込先: リソナ銀行 三田支店

普通預金

平成31年2月21日

合計金額 ￥112,928

内訳	摘要	金額	備考
事務所家賃料	2	69,336	✓
共益費		11,556	✓
電気料		5,599	✓
空調ガス料金		4,837	✓
駐車場代		21,600	
合 計		112,928	

家賃及共用費等領収通帳

4階403号

職業

氏名 山下昌彦事務所 殿

領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.27	¥110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥109,666		
10 H31 1月分 1.31	¥110,775		
11 H31 2月分 2.28	¥112,928		
12			

上記金正に領収しました

取扱者印

平成 年 月 日

大阪市淀川区西三国4丁目8番19

株式会社三国ビルディング

電話 (06) 6391-5566

社印及取扱者印なきものは無効とす



整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☒ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 66,293 円
	支出年月日 平成31年3月28日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要
支出内容 平成31年3月分 事務所家賃（賃料・共益費・ガス・電気）	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を使用する場合	按分の基礎とする金額 87,462 円 按分率 _____ %
② 按分率を使用しない場合	充当の考え方 ※3/21～3/31 は知事選・市長選・統一選挙の為按分50%とする。 3/1～3/20 の20日間90% 50,778 円 3/21～3/31 の11日間50% 15,515 円

請求内訳書

 発行日: 2019年3月21日
 伝票番号: 2019-0008

山下昌彦事務所 殿

 株式会社 三国ビルディング
 〒532-0008
 大阪市淀川区西三国4丁目8番19号
 電話: 06-6391-5566(代)
 振込先: リソナ銀行 三国支店
 普通預金

平成31年3月21日

合計金額 ¥ 109,062

日付	内訳	摘要	金額	備考
	事務所家賃料	3	69,336	✓
	共益費		11,556	✓
	電気料		5,149	✓
	空調ガス料金		1,421	✓
	駐車場代		21,600	
	合 計		109,062	

家賃及共用費等領収通帳			
4 附403号			
職業 氏名 山下昌彦事務所 殿			
領収年月日	領収金額	受領印	摘要
1 H30 4月分 4.29	¥ 110,559		請求書No. ~ 明細書
2 H30 5月分 5.31	¥ 111,116		
3 H30 6月分 6.29	¥ 121,385		
4 H30 7月分 7.31	¥ 123,021		
5 H30 8月分 8.31	¥ 122,498		
6 H30 9月分 9.28	¥ 123,397		
7 H30 10月分 10.31	¥ 116,179		
8 H30 11月分 11.30	¥ 109,272		
9 H30 12月分 12.28	¥ 109,666		
10 H31 1月分 1.31	¥ 110,775		
11 H31 2月分 2.28	¥ 112,928		
12 H31 3月分 3.28	¥ 109,062		
上記金正に領収しました			
取扱者印	平成 年 月 日		
大阪市淀川区西三国4丁目8番19号			
株式会社 三国ビルディング			
電話 (06) 6391-5566			
社印及取扱者印なきものは無効とす			

領収書等添付一覧(杉山 幹人)

(平成 30 年度)

費目名	①調査研究費			
年月日	支 出 内 容	支 出	備 考	整理番号
平成30年5月28日	ガソリン代	¥995	1,991円×50%	
平成30年6月19日	ガソリン代	¥2,628	5,257円×50%	
平成30年8月31日	駐車場代	¥1,000		
平成30年9月2日	ガソリン代	¥1,500	3,000円×50%	
平成30年9月12日	視察航空券	¥161,140		
平成30年10月9日	ガソリン代	¥498	996円×50%	
平成30年10月10日	視察現地回線利用料	¥6,400		
平成30年10月10日	視察交通費	¥1,550		
平成30年10月14日	視察交通費	¥1,550		
平成30年10月17日	ガソリン代	¥1,500	3,000円×50%	
平成30年10月30日	ガソリン代	¥1,500	3,000円×50%	
平成30年11月27日	駐車場代	¥697		
平成30年12月11日	視察交通費	¥127,520		
平成30年12月11日	視察交通費	¥9,100		
平成30年12月11日	視察交通費	¥74,310		
平成30年12月12日	ガソリン代	¥2,488	4,977円×50%	
平成31年1月16日	ガソリン代	¥2,500	5,000円×50%	
平成31年1月21日	視察交通費	¥1,550		
平成31年1月21日	視察現地回線利用料	¥10,360		
平成31年1月27日	視察交通費	¥1,550		
平成31年1月30日	ガソリン代	¥2,350	4,700円×50%	
合 計		¥412,686		

※領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙としてご活用ください。

領収書等添付一覧(杉山 幹人)

(平成 30 年度)

費目名	①調査研究費			
年月日	支 出 内 容	支 出	備 考	整理番号
平成31年3月13日	ガソリン代	¥2,806	5,613円×50%	
合 計		¥2,806		

※領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙としてご活用ください。

¥415,492

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 995 円
	支出年月日 平成 30 年 5 月 28 日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 杉山 幹人
支出内容 ガソリン代 ポイント9円分控除	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 1991 円 按分率 50 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

領収書等添付欄

ENEOS

納品書(領収書)

ガソリン税にも消費税が課税されています。

2018年05月28日 19:15

売上
ENEOS ICカード会員 様ENEOS ICカード
車両番号 実車番
0026-00レギュラー
13.42L
P-07
 * ¥2,000
 149円
 (内ガソリン税53.80円 ¥722)
 合計 ¥2,000
 (内消費税等(8.00%) ¥148)
 ¥2,000

お預り

お釣り

T・イト:基本P

特別P

今回計

利用ポイント

利用可能ポイント

本日付与されたポイントは2~3日

目以降に反映されます。有効期限切

等の理由で、ICカードにポイントが

加算されないことがあります。

詳細はwww.ts11e.jpにてご確認下

さい。

現金でお買上げの場合は領収書にかえてお返し頂きます。

横田エネルギー株式会社

長柄橋SS

大阪市 北区

本庄東3丁目2-13

TEL:06-6292-7707

E-mail: 4002-03

SS-600783

2018/05/28

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける	支出額 ※政務活動費充当額を記入
☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☒ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	2,628 円 支出年月日 平成 30 年 6 月 19 日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 杉山 卓平人
支出内容 ガソリン代	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 5,257 円 按分率 50 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

領収書等添付欄

Esso Mobil 日産

旭油業株式会社
納品書(領収書)

2018年06月19日 18:09

ゲソノカド 様

現金固定
1-500143-00100 0001シナジー レギュラー P-7 8%
35.76L.1 0147.00 ¥5257
02100合計 ¥5,257
(内消費税等 ¥389)※上記にて領収書とさせていただきます。
お預かり ¥10000 お釣り銭 ¥4743

2018/06/19 (500101)

旭油業(株)豊里西SS
大阪市東淀川区菅原4-2-20

TEL06-6327-4667

WebNo. 5099-03

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費		支出額 ※政務調査費充当額を記入 1,000 円
		支出年月日 平成 30 年 8 月 31 日
		使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 杉山 幹人
支出内容 西淀川区役所レクチャー 駐車場代 (工場見学ものづくりについて現場の方々と意見交換のため)		

※領収書記載金額の一部を政務調査費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 _____ 円 按分率 _____ 100 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方 _____

領収書等添付欄

駐車券

西淀川区役所駐車場

18-08-31 10:00-10:30

精算08:31 12:35

駐車時間 3時間41分

駐車料金 1,000円

割引 0円

領収書

前払現金 0円

現金 1,000円

釣銭 4,000円

NO. 053649

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける ☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出額 ※政務活動費充当額を記入 1,500 円
	支出年月日 平成 30 年 9 月 2 日
	使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 杉山 幹人
支出内容 ガソリン代	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合(①又は②を記入)

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 3,000 円 按分率 50 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

領収書等添付欄

Mobil

領収書

旭油業(株)
 豊里西
 大阪府大阪市東淀川区菟原4-2-20
 TEL:06-6327-4667
 2018/09/02(日)15:43
 現金フリー 様
 4-500101-90004 025325 0000
 売上 現金フリー 手
 シナジー レギュラー
 021000 ¥3000
 20.13L @149.0 L-2 N-4

小計 ¥3,000
 (内消費税等 ¥222)
合計 ¥3,000
 お預かり ¥5000 お釣 ¥2000
 ※上記にて領収書とさせていただきます
 No.8634 担当:0001 豊里西
 POS番号01
 2018/09/02 釣銭伝票No.2166

整理番号

領収書等貼付用紙

費目 ※該当する費目に✓をつける	支出額 ※政務活動費充当額を記入 161,140 円
☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 事務所費 ☐ 要請・陳情活動費	支出年月日 平成 30 年 9 月 12 日 使用者 ※領収書で明白な場合は記入不要 杉山 卓平人
支出内容 オランダ視察 航空券（往復分） 2名分のため、半客員分のみ 計上。	

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合（①又は②を記入）

① 按分率を 使用する場合	按分の基礎とする金額 _____ 円 按分率 _____ 100 %
② 按分率を 使用しない場合	充当の考え方

領収書等添付欄

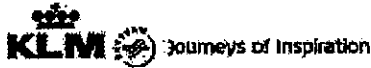
確認：大阪 - アムステルダム (NKF6A7)

1 件のメッセージ

KLM のご予約 <reservations.japan@klm.com>

2018年9月12日 17:27

To: [REDACTED]



確認

お客様の予約

ホテルも予約する

旅行ガイド

フライング・ブルー

予約確認書

ご予約を承りました。

以下に、お客様の重要な予約情報が記載されています。航空券は別途メールでお送りします。快適な空の旅をお楽しみください。

！ 重要

- ご出発前のフライト再確認は必要ありません。
- 万が一、お客様のお名前やその他の詳細情報に誤りがある場合は、恐れ入りますが、ご予約の24時間以内に当社までご連絡ください。KLMコールセンター 変更には手数料がかかる場合がございます。
- 空港には時間に余裕を持ってお越し下さい。可能な場合は、インターネットチェックインのご利用をおすすめいたします。空港で長い列に並ばずに済みます。
- 時刻はすべて現地時刻で表示されています。
- 旅程の中で必要となる有効な旅行文書をすべて所持していることをご確認ください。
- 以下の情報をご確認ください。健康、パスポート に関する詳細はKLM.comをご覧ください。ビザに関する詳細はKLM.comをご覧ください。

ご不明な点がございましたら、

以下までお気軽にご連絡ください KLMサービスセンター。

お客様の予約コード

予約コードは大切に保管してください。KLMや提携会社との連絡の際に必要となります。



KLMをご利用いただき、誠にありがとうございます。どうぞ楽しい空の旅を。

フライトサマリー

フライト: 大阪 - アムステルダム - 復路出発日

JPY 322,280

18 10 10 水 - 18 10 13 土

往路出発日: 大阪 - アムステルダム

18 10 10 水 10:25 大阪 (Kansai International Airport, Japan)

18 10 10 水 15:00 アムステルダム (Schiphol, ヨーロッパ オランダ)

クラス: Economy

便名: KL 0868

機種: Boeing 787-9 | 座席図を表示 ☐

運航会社: KLM Royal Dutch Airlines

合計飛行時間11h35

復路出発日: アムステルダム - 大阪

18 10 13 土 14:40 アムステルダム (Schiphol, ヨーロッパ オランダ)

18 10 14 日 08:35 大阪 (Kansai International Airport, Japan)

クラス: Economy

便名: KL 0867

機種: Boeing 787-9 | 座席図を表示 ☐

運航会社: KLM Royal Dutch Airlines

合計飛行時間10h55

旅客

Mr MIKITO SUGIYAMA (大人) お客様の名前は "MIKITO MR SUGIYAMA" とチケットに記載されます

電話番号 1

メールアドレス (携帯は不可)

航空券番号

074-2417075298

Mr MASARU TOKUDA (大人) お客様の名前は "MASARU MR TOKUDA" とチケットに記載されます

航空券番号

074-2417075299

料金の詳細

	大人	
料金	125,000	
燃油特別付加運賃および航空保険料	28,600	
国際線空港施設使用料(SW)	2,730	
Airport Passenger Service Charge (RN)	1,600	
Security charge(CJ)	1,400	
旅客保安サービス料 (OI)	310	
料金 (1人あたり)	159,640	
旅客数	2	
全旅客の合計金額		JPY 319,280
クレジットカード手数料		JPY 3,000
合計金額:		JPY 322,280

* Some airports may charge an additional surcharge.

チケットの条件

大阪, Kansai International Airport (KIX)~アムステルダム, Schiphol (AMS)

航空券ベースNKSFJPのNクラスでのご旅行となります。

キャンセル: JPY 30,000の払い戻し

- 手数料JPY 30,000でご出発前のキャンセルを承ります。
- ご出発後にキャンセルすることはできません。
- この運賃は、指定の旅行に対して指定の日付で、順序どおりにご利用いただく航空券に適用されます。一般運送約款で概説されているように、旅行当日にこれに準拠しない使用が発覚した場合、追加の固定料金を空港で支払う義務が生じます。金額は以下のとおりです: 短距離フライト (メトロポリタンフランスおよびコルシカ) では125ユーロ、エコノミークラスでのヨーロッパ内のフライトでは250ユーロ、ビジネスクラスでのヨーロッパ内のフライトでは500ユーロ、エコノミークラスまたはプレミアムエコノミーでの大陸間のフライトでは500ユーロ、ビジネスクラスでの大陸間のフライトでは1,500ユーロ、エールフランス航空のラ・ブルミエールでの大陸間のフライトでは3,000ユーロです (または、これらの金額に相当する現地通貨でお支払いいただきます)。

再予約することはできません

- ご出発前に変更することはできません。
- ご出発後に変更することはできません。

フライトを逃した場合、払い戻しはありません

ご搭乗時にお客様がいらっしゃらない場合、この航空券の払い戻しは行われず、無料の再予約も適用されませんのでご注意ください。

受託手荷物込み

- このフライトには、1 料金個の受託手荷物をお持ち込みいただけます
- このフライトには、無料で機内持ち込み手荷物をお持ち込みいただけます。

2389 フライイング・ブルーマイル

- フライイング・ブルー会員のお客様は2,389マイルを獲得することができます。

最小滞在日数が適用されます

- 3 日の最小滞在日数が適用されます。

最大滞在日数が適用されます

- 1 ヶ月の最大滞在日数が適用されます。

アムステルダム, Schiphol (AMS)~大阪, Kansai International Airport (KIX)

航空券ベースEKSFJPのEクラスでのご旅行となります。

キャンセル: JPY 30,000の払い戻し

- 手数料JPY 30,000でご出発前のキャンセルを承ります。
- ご出発後にキャンセルすることはできません。
- この運賃は、指定の旅行に対して指定の日付で、順序どおりにご利用いただく航空券に適用されます。一般運送約款で概説されているように、旅行当日にこれに準拠しない使用が発覚した場合、追加の固定料金を空港で支払う義務が生じます。金額は以下のとおりです: 短距離フライト (メトロポリタンフランスおよびコルシカ) では125ユーロ、エコノミークラスでのヨーロッパ内のフライトでは250ユーロ、ビジネスクラスでのヨーロッパ内のフライトでは500ユーロ、エコノミークラスまたはプレミアムエコノミーでの大陸間のフライトでは500ユーロ、ビジネスクラスでの大陸間のフライトでは1,500ユーロ、エールフランス航空のラ・ブルミエールでの大陸間のフライトでは3,000ユーロです (または、これらの金額に相当する現地通貨でお支払いいただきます)。

再予約することはできません

- ご出発前に変更することはできません。
- ご出発後に変更することはできません。

フライトを逃した場合、払い戻しはありません

- ご搭乗時にお客様がいらっしゃらない場合、この航空券の払い戻しは行われず、無料の再予約も適用されませんのでご注意ください。

受託手荷物込み

- このフライトには、1 料金個の受託手荷物をお持ち込みいただけます
- このフライトには、無料で機内持ち込み手荷物をお持ち込みいただけます。

2389 フライイング・ブルーマイル

- フライイング・ブルー会員のお客様は2,389マイルを獲得することができます。

最小滞在日数が適用されます

- 3 日の最小滞在日数が適用されます。

最大滞在日数が適用されます

- 1 ヶ月の最大滞在日数が適用されます。

座席

大阪 - アムステルダム

便名: KL 0868

往路便: 18 10 10 水

乗客	座席番号	席種
Mr MIKITO SUGIYAMA	16A	プリファードシート EMD番号 074-8229789557
Mr MASARU TOKUDA	16C	プリファードシート EMD番号 074-8229789559

アムステルダム - 大阪

便名: KL 0867

往路便: 18 10 13 土

乗客	座席番号	席種
Mr MIKITO SUGIYAMA	18K	プリファードシート EMD番号 074-8229789558
Mr MASARU TOKUDA	18H	プリファードシート

座席の合計金額

JPY 15,440

フライトの合計金額

VISA

Visa :

JPY 337,720

姓

SUGIYAMA

名 (例: ICHIRO)

MIKITO

カード番号

住所

Higashiyodogawa ward

国

5330021

居住都市

Osaka city

国

Japan

郡

合計金額

JPY 337,720



Journeys of inspiration

Koninklijke Luchtvaart Maatschappij N.V. geregistreerd in Amstelveen, Nederland, onder handelsregisternummer 33014286.

For information, services and offers, please visit our web site: <http://www.klm.com>. This e-mail and any attachment may contain confidential and privileged material intended for the addressee only. If you are not the addressee, you are notified that no part of the e-mail or any attachment may be disclosed, copied or distributed, and that any other action related to this e-mail or attachment is strictly prohibited, and may be unlawful. If you have received this e-mail by error, please notify the sender immediately by return e-mail, and delete this message.

Koninklijke Luchtvaart Maatschappij NV (KLM), its subsidiaries and/or its employees shall not be liable for the incorrect or incomplete transmission of this e-mail or any attachments, nor responsible for any delay in receipt. Koninklijke Luchtvaart Maatschappij N.V. (also known as KLM Royal Dutch Airlines) is registered in Amstelveen, The Netherlands, with registered number 33014286

政務活動記録簿

会派（議員） 杉山 幹人

年 月 日	平成 30 年 10 月 10 日（水）～13 日（土）			
場 所	アムステルダム			
相 手 方	Google			
参加者氏名	杉山幹人、徳田勝			
目的・内容 ・ 結 果 等	別紙参照			
上記活動に 要した経費	行 き 先	利用交通機関	積 算	金 額
	アムステルダム⇄大阪	飛行機		161,140 円
	梅田⇄関西空港	バス	1,550×往復	3,100 円
				円
				円
				円
				円
	宿 泊 費		円	内訳：
	会 議 費		円	内訳：
	資料購入費		円	内訳：
	その他（Wi-Fi）		6,400 円	内訳：
備 考				

*結果報告等について、スペースが足りない場合は、別途報告資料を添付してください。

Agenda

Day 0 – Wednesday, 10 October

Time	Activity	Presenter
19:00	Welcome Reception at Hudson's Terrace in the NH Barbizon	

Day 1 – Thursday, 11 October

Time	Activity	Presenter
9:00	Registration, breakfast and networking	
9:30	Intro and icebreaker	Jem Alabi-Isama
9:45	1 Welcome to Forward with Google for Education	John Vamvakitis
10:00	2 Why creativity and risk taking matters	Marc Sanz Lopez Mariolein van der Plas
10:25	3 Customer Spotlight: What can we learn from a school that starts with imagination?	Liz Sproat Rob Houben Agora
11:05	Break	
11:30	4 Keynote: Machine Learning - A tool for human living and learning	Jonathan Rochelle
12:00	Lunch	
13:15	5 Keynote: How technology can enhance curiosity and human relationships	Michael Madaio Carnegie Mellon University
13:35	Workshop Part 1: Moonshot factory and design thinking	Ben Rouse Oli Trussell
14:35	Break	
14:55	Workshop Part 2: Moonshot factory and design thinking	Ben Rouse Oli Trussell
15:55	Student inspiration	Sarah Woods
16:25	Day 1 close	Jem Alabi-Isama
16:30	Guest free time	
17:10	Guest re-group and canal boat trip to People's Place	
19:00	Dinner & Evening Party at People's Palace	
23:00	End of night	

Agenda

Day 2 – Friday, 12 October

Time	Activity	Presenter
9:00	Breakfast and networking	
9:30	Welcome	Jem Alabi-Isama
9:35	Opening Keynote	Andreas Schleicher OECD
9:55	Building Future Skills	Amanda Timberg
10:15	Fireside Chat with Andreas and Amanda	Andreas Schleicher Amanda Timberg Moderated by Dean Stokes
10:35	Break	
10:55	Keynote: Driving innovation in Finland	Anneli Rautiainen, Finnish National Agency for Education
11:15	Lightning Talk - Developing a Culture of Innovation and High Performance Ways of Working	Rania Hadi
11:30	Workshop Part 3: Moonshot factory and design thinking	Ben Rouse Oli Trussell
12:00	Lunch	
12:15	Workshop Part 4: Moonshot factory and design thinking	Ben Rouse Oli Trussell
14:20	Break	
14:35	TGIF panel	
15:05	Forward with Google for Education close	
15:10	End of Event	

スギヤマ

CONTACT

市政相談をする

SESSION

市政報告会の案内

OWNED MEDIA

杉山みきとからのお知らせ

大阪市東淀川区選出
大阪維新の会 大阪市議員
杉山みきと

ギャンブル教育
第七巻
大阪市長議員 杉山みきと

Amazonで発売中
紙版：2000円
Kindle版：500円

【時系列編】 Forward with Google for Education参加レポート

Google for Education

Forward

with Google for Education

October 11/12

時系列編

いいね！ 0

ツイート

LINEで送る

先日のブログでも紹介した通り、Googleから日本人で初めての招待をいただき、「Forword with Google for Education」という教育イベントに参加してきました。速報としてYouTube市政報告会を行ったので、全体的な内容はこちらからどうぞ。

第3回YouTubeでやっちゃう市政報告会@アムステルダム ...



イベントの概要、そこで学んだこと、これからやろうと思っていることなどは既に速報としてYouTube市政報告会でお伝えしました。

書きたいことを自由に書き始めると長くなりすぎる懸念があるため、ブログでは

- ・時系列編
- ・講演内容編
- ・ワークショップ編
- ・今後の展望編

の4つに分けて記事を書いています。

では、時系列編のスタートです。

2018年10月10日（出国日）

まず10/10の朝早くに家を出て、関西国際空港を目指しました。海外に行くのは初めてではありませんし、特にトラブルもなくスムーズに手続きが進みました。



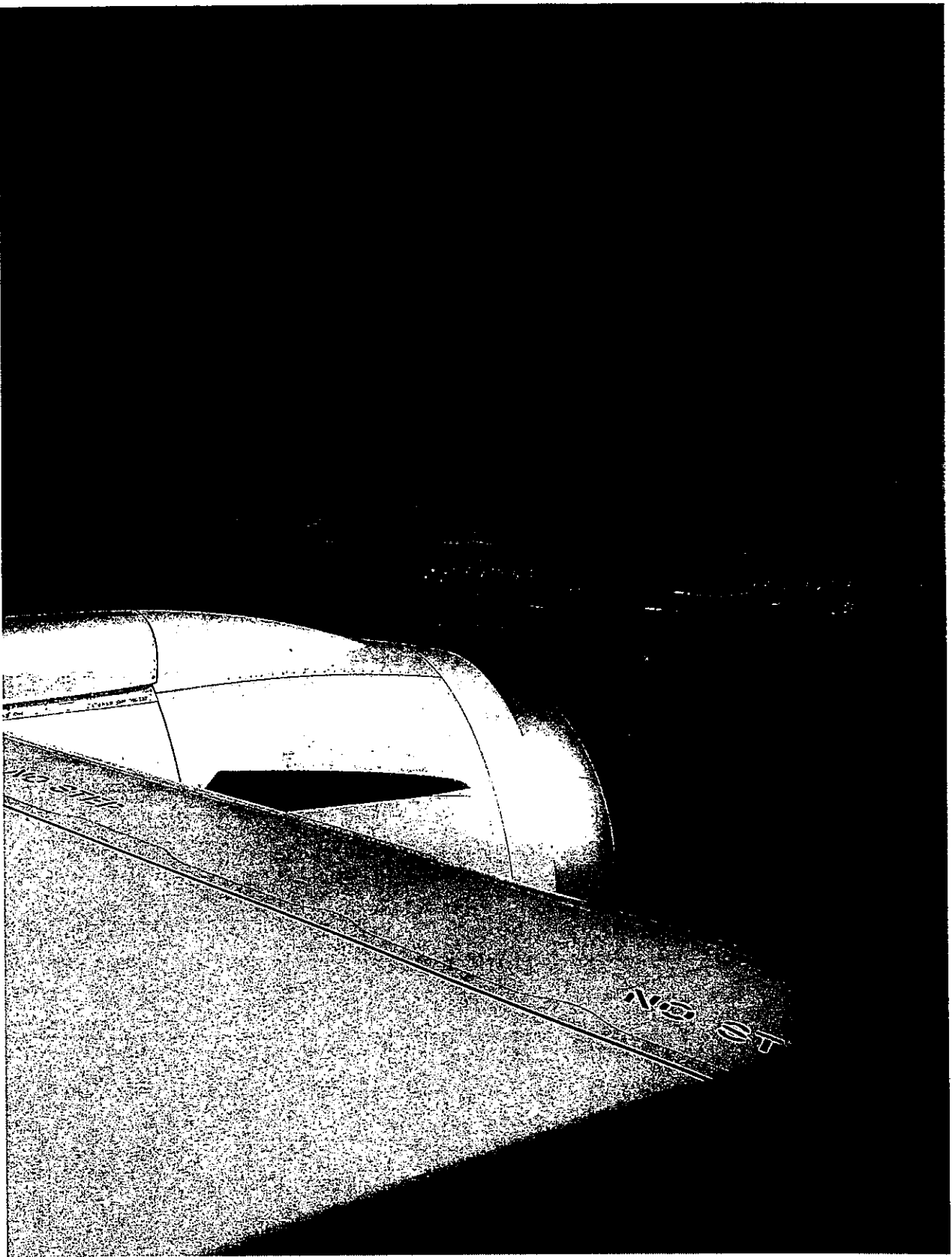
2025年国際博覧会を大阪・関西へ!
World Expo 2025 to Osaka, Kansai

KANSAI AIRPORTS

関西エアポートグループは2025年国際博覧会の大阪・関西開催を応援しています。
KANSAI AIRPORTS supports the World Expo 2025.

た

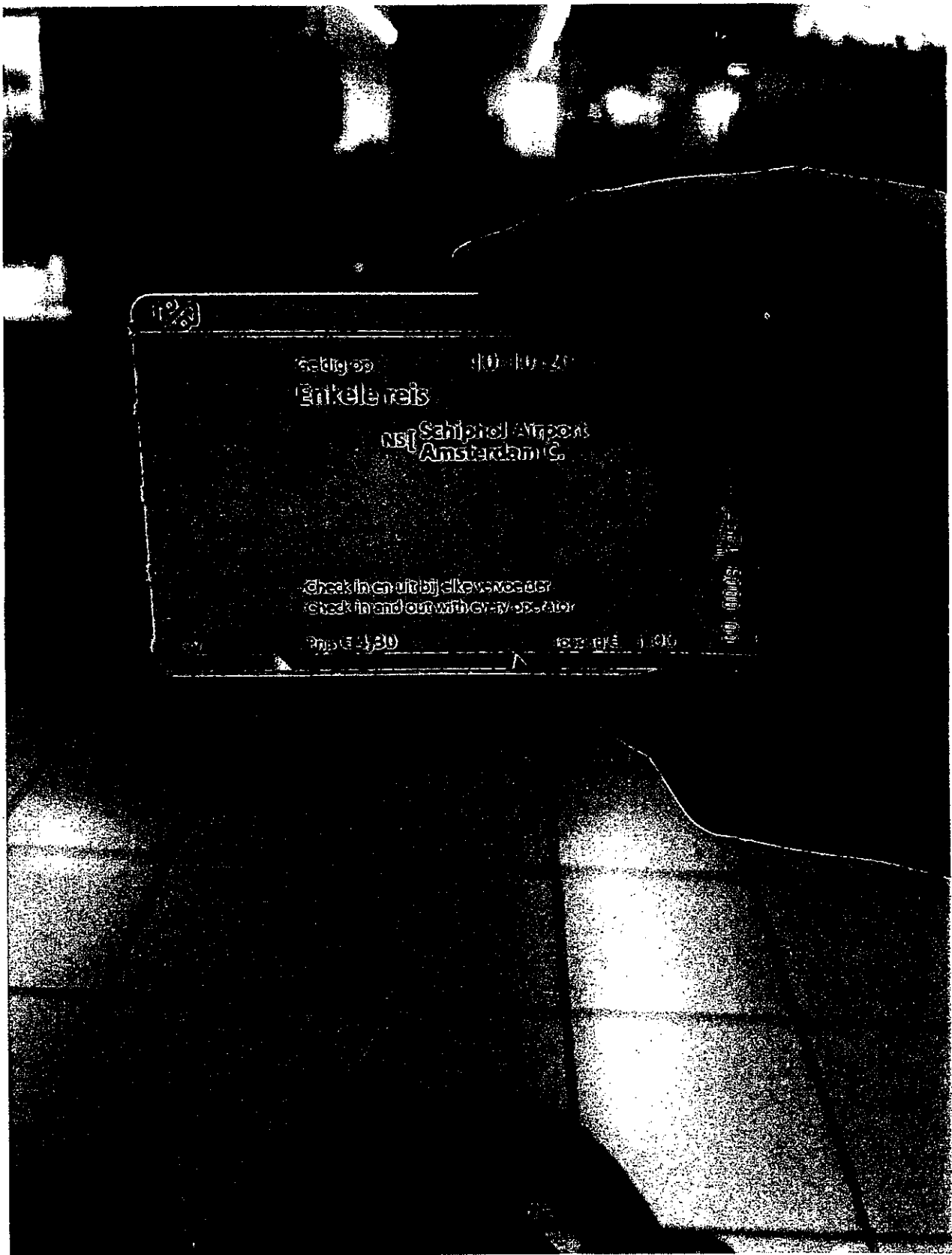
同時期に吉村市長はパリへ、松井知事はアフリカへ万博誘致のために行っていたので、この掲示を見て「よーし、持ち場は違うけど僕も頑張るぞ!」と思えました。



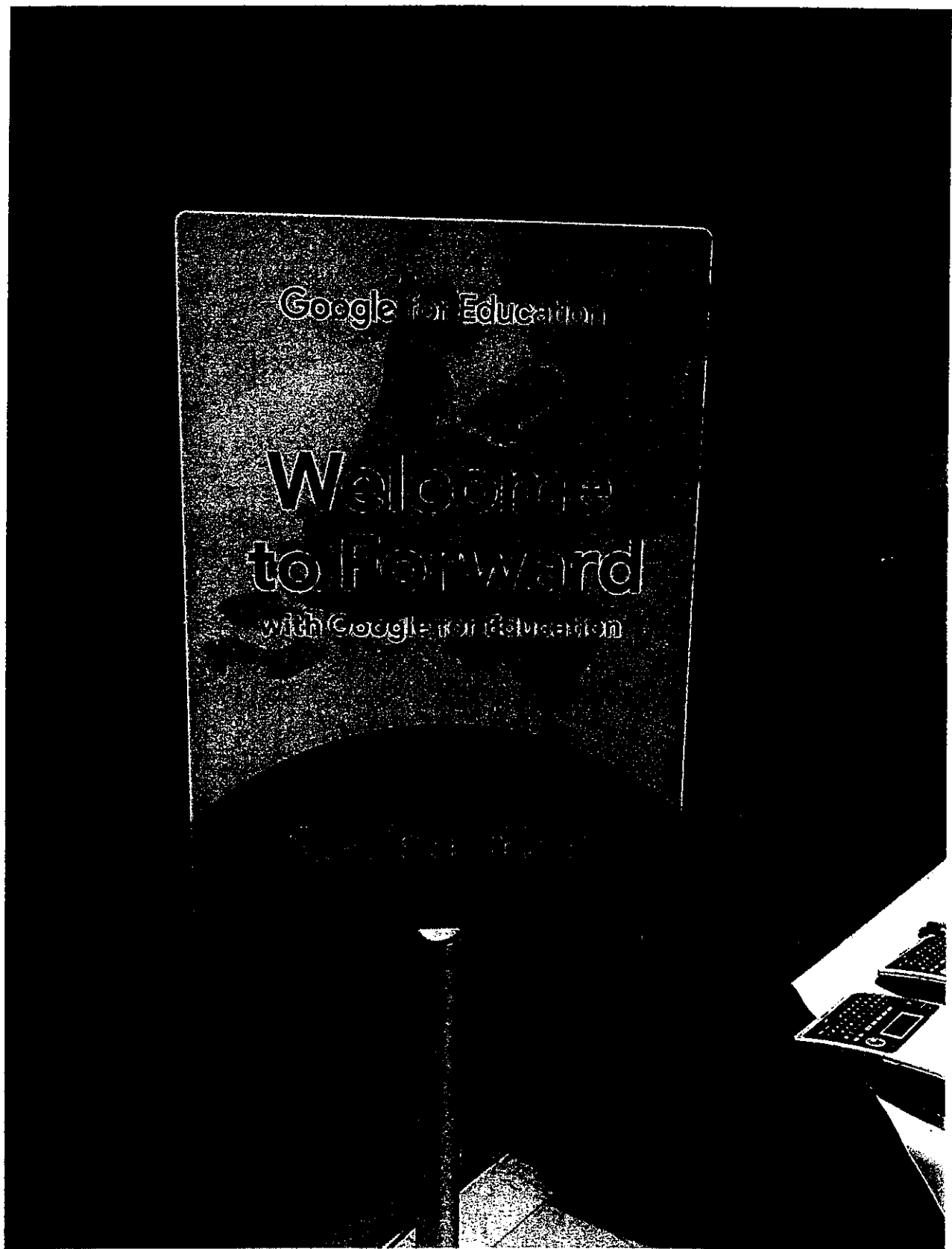
日本時間10:25に離陸。目的地がアムステルダム（スキポール空港）なので結構時間がかかります。到着時刻は現地時間の15:00（日本時間22:00）という長旅でした。



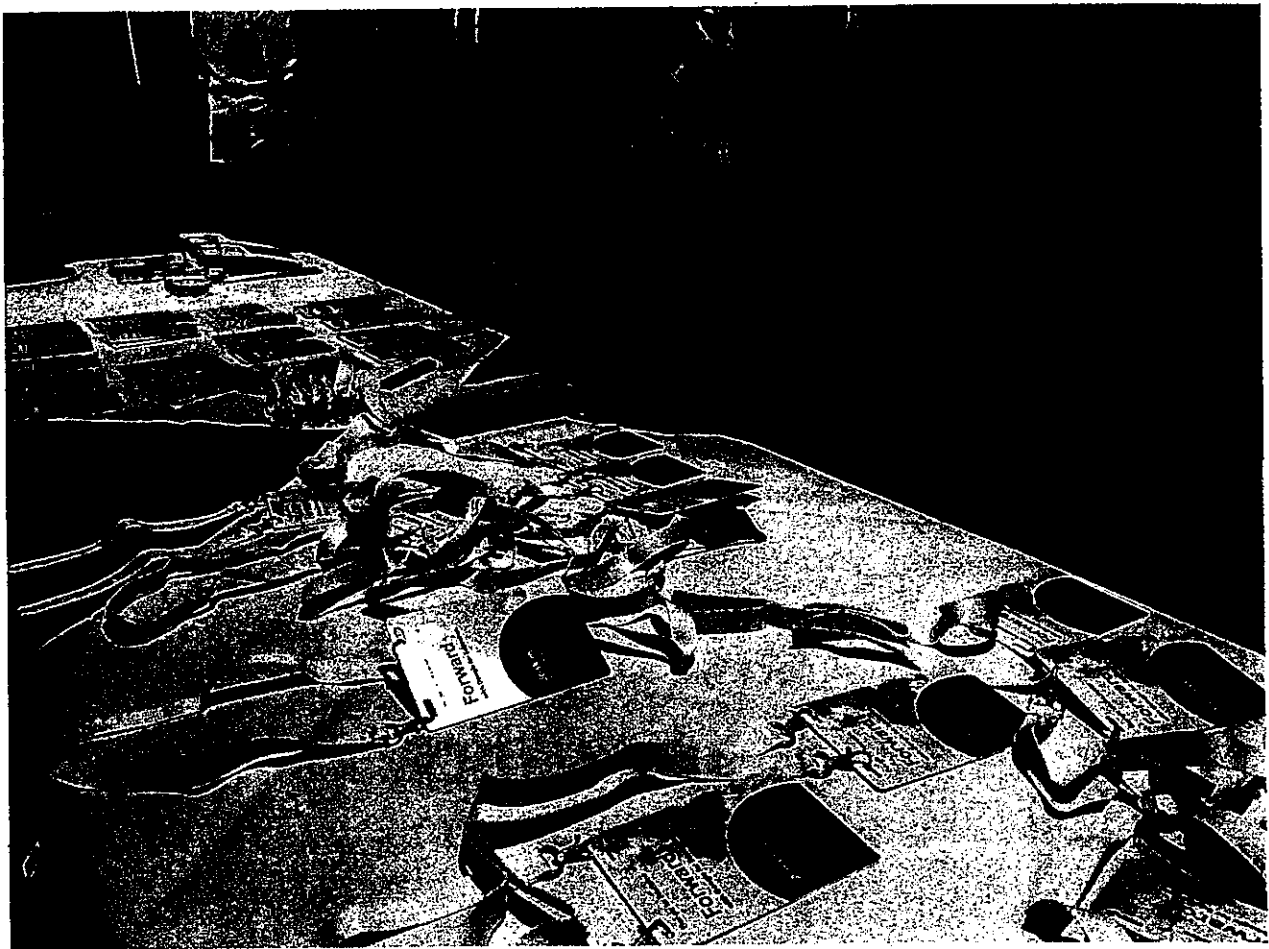
空港に到着後、アムステルダム中央駅までは電車移動です。というわけでチケットを購入。



アムステルダム中央駅から徒歩数分でイベント会場のホテル（NH Collection Amsterdam Barbizon Palace）に到着。フロントで手続きを済ませて、すぐ近くにあった「Forword with Google for Education」のイベント参加者受付へ。

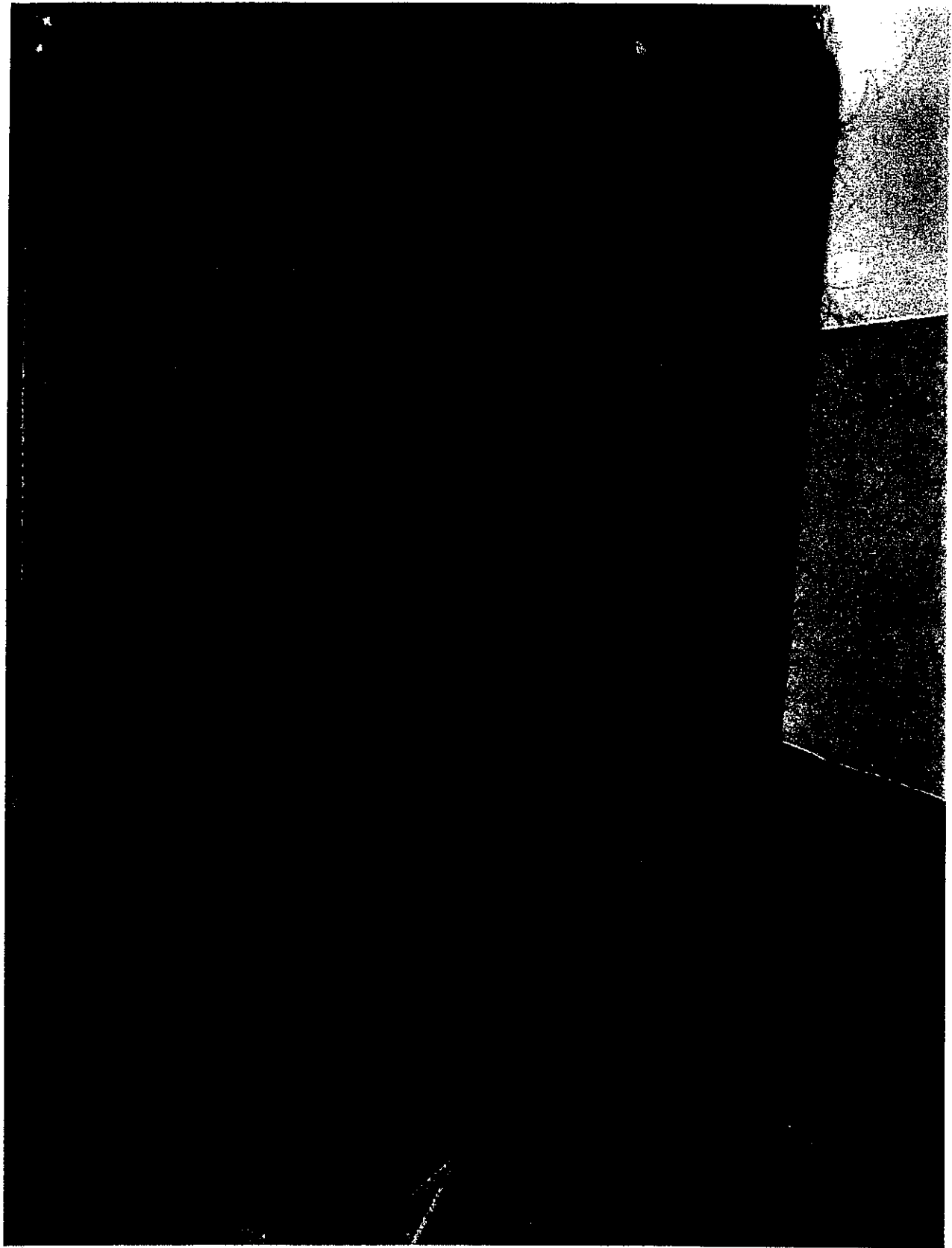


参加者のネームプレートがたくさん準備してあります。



Googleの4色カラーで属性が色分けされています。

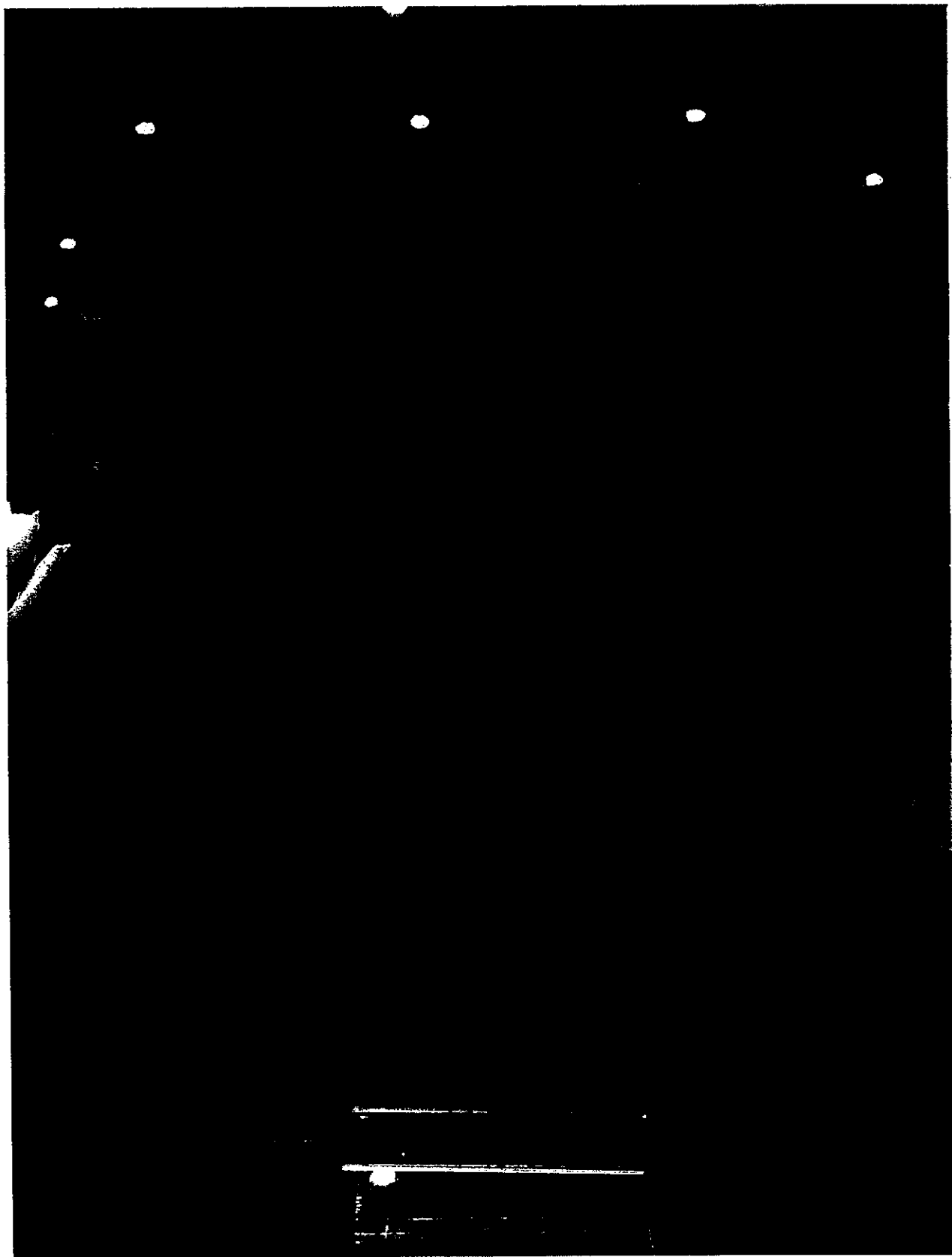
赤がスピーカー、青がスタッフ、緑がGoogle社員、黄が参加者です。



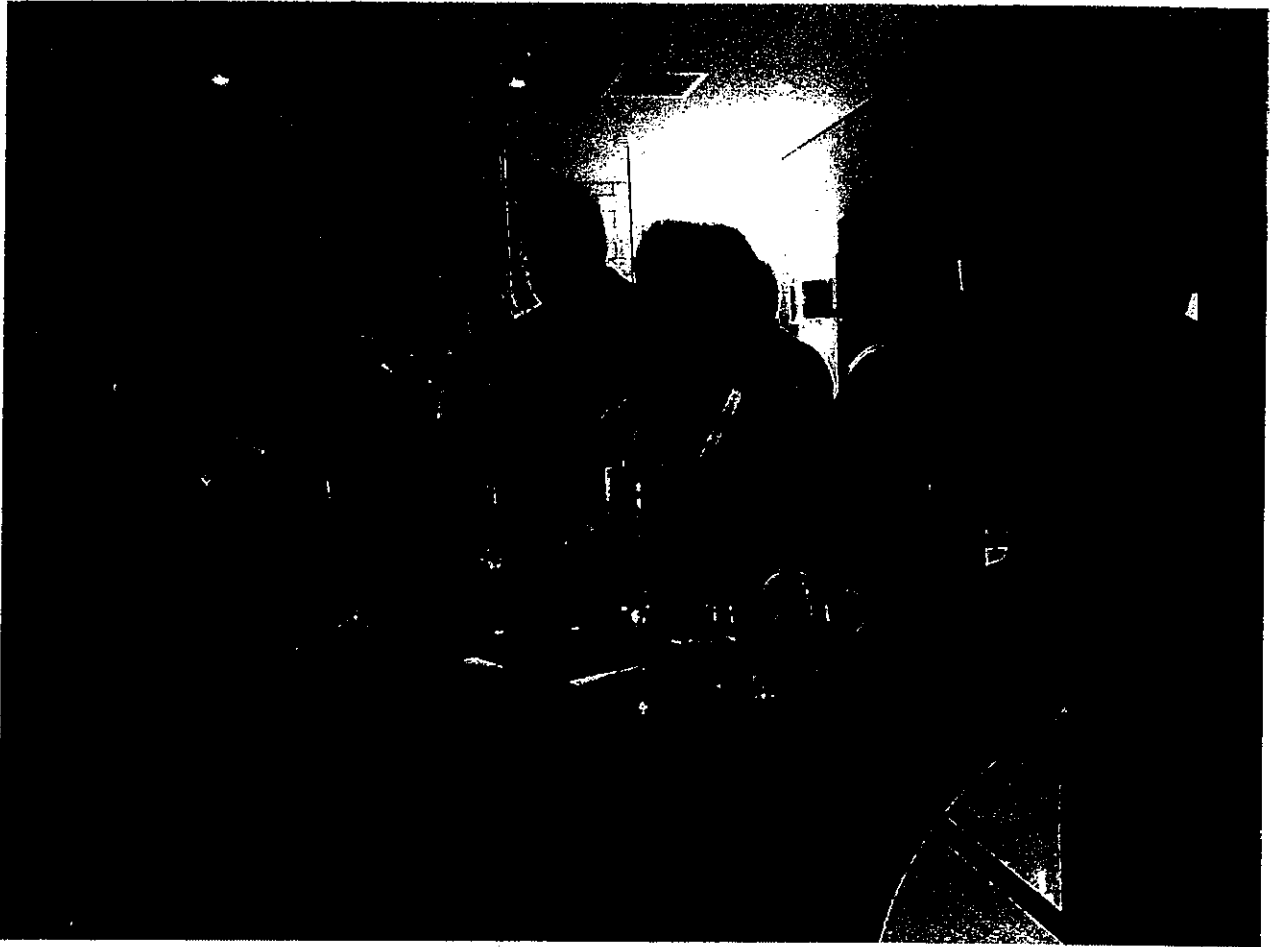
パッチリ、黄色のネームプレートと、Chromeのバッジをゲット。笑
僕、ChromeのTシャツ輸入したことある程度にはこーゆーの好きなので嬉しかったです。

19時からウェルカムレセプションパーティーがあるということだったので、ホテルの部屋で休憩。少しお腹がすいていたというのもあり、アムステルダムの中を散策しつつ軽食、19

時にホテルに戻りました。



ウェルカムレセプションでは、スパークリングワインと軽食が提供され、これから始まるイベントに参加する各国の教育関係者達と交流ができるようになっています。

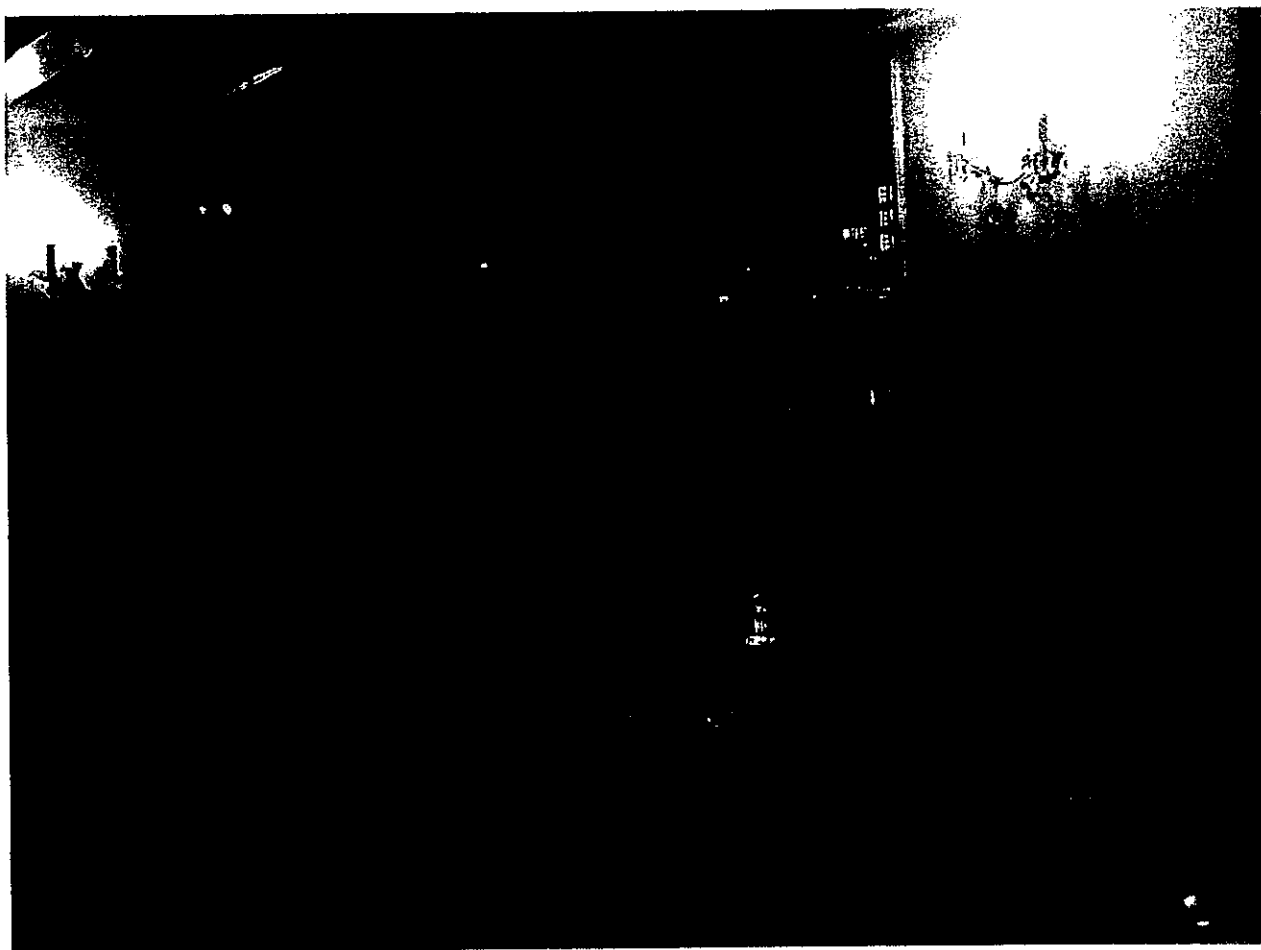


写真はインドの参加者と話しているシーンですが、ここではスイスの参加者から面白い話を聞くことができました。

兼ねてより、大阪においては教育委員会とベンダー（入札参加業者）との関係性があまり良くないと個人的に感じています。現在はICT戦略室が教育委員会を兼務することで改善されているものの、属人的な体制なので抜本的対策が必要だと思っているのですが、この悩みが世界共通だということがわかりました。

スイスでは、学校現場とベンダーの間に入ってコンサル的な役割をする職業が確立されており、しかもその数も結構多いそうです。本当に現場に必要なものと、ベンダーが提示するメニューに乖離がある、それは内容もそうだし、値段もそうです。このへんを調整する機関がどうしても必要で、スイスの場合はそこを個人が学校と契約をするなどして対応しているとのこと。個人がコンサルってのはリスクを感じるころではありますが、ここで得た知見としては先述している通り、この悩みが世界的なものであるという事実です。

1時間程度でウェルカムレセプションは終了し、その後、Head of Google for Education APAC（アジア圏）のコリン氏の呼びかけにより、日本・オーストラリア・インドからの参加者で合同ディナー＆情報交換会が行われました。



正面に座っていた、オーストラリアの首都キャンベラにて教育ICTの統括責任者をしているMeg氏からキャンベラの状況を教えてもらいました。コリン氏も言ってましたが、キャンベラはかなり先進的で、もう5~6年前からG Suiteを教育で活用しているとのこと。大阪では、未だにプライベートクラウドにこだわっている中で（昨年、関連質疑をしました）、そんなに早くからパブリッククラウドを活用していることに驚きつつ、情けなさを感じつつ。

ベンダーとの関係に問題があるという世界共通の悩み、これはキャンベラも抱えていて、キャンベラの場合はMeg氏が属人的な体制で対応しているとのこと。ほんとに悩みは世界共通ですね。更にはキャンベラでも大阪と同様に、デバイス側の問題がフォーカスされた時期があったそうです。現在、大阪もデバイスの問題を抱えていると僕は考えています（現在納入されているWindowsタブレットで本当に良いのか？という問題）。

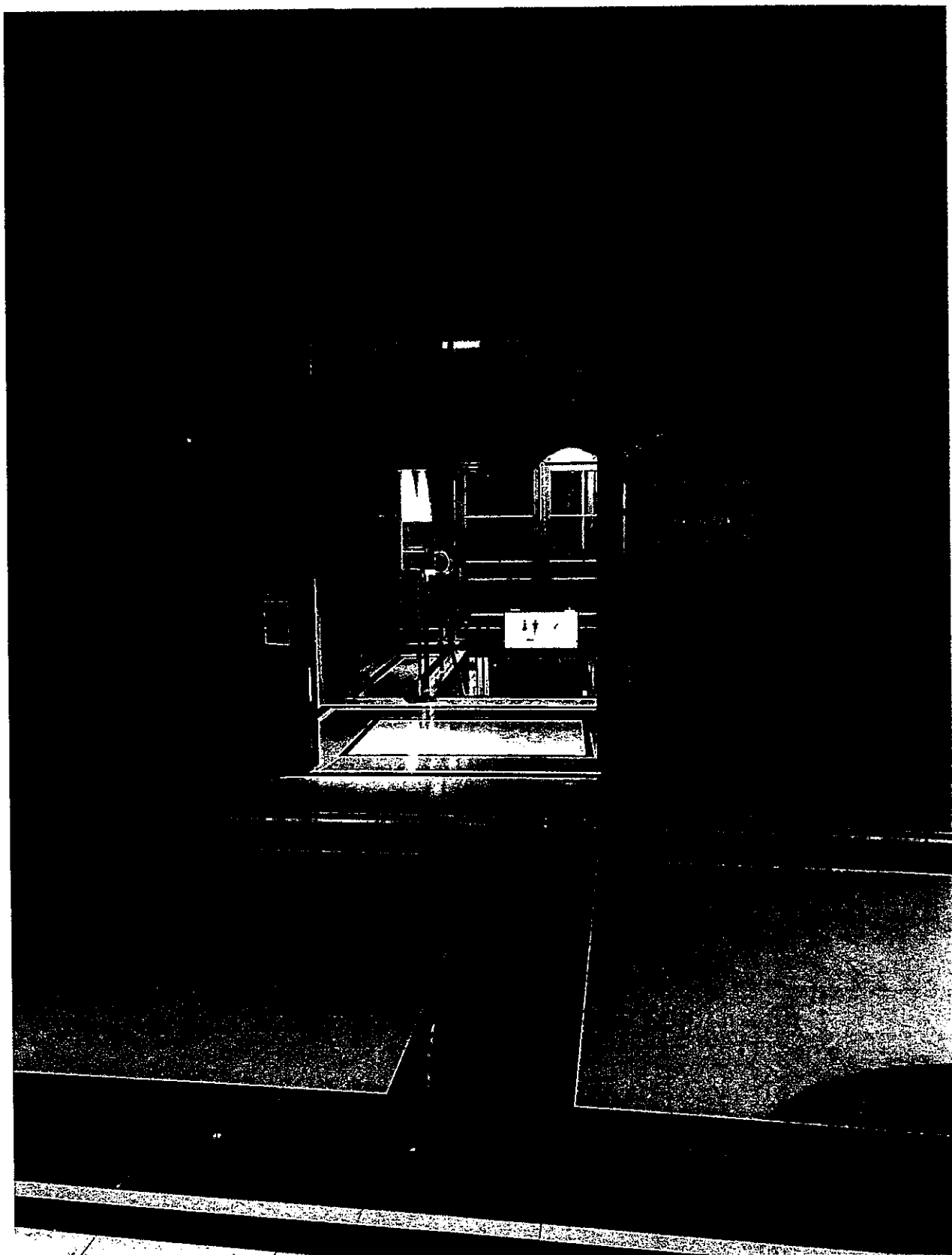
キャンベラでは、学生サイドからの訴えが自治体を動かしたそうです。しかもすごく面白くて、学生サイドが当時使っているデバイスの起動時間と、学生が求めているデバイスの起動時間を比較する動画を作成。いかにその当時、起動時間によって時間をロスしているか、それが教育に与える悪影響を考えてほしいという主旨のものだったそうで、非常に意欲的かつロジカル、行動力のある学生だなあと感心しました。この動画はYouTubeでも見れるということで、URL送ってよ！ってお願いしたのですが、大まかなキャンベラでの取り組み事例紹介のPDFが送られてきただけでしたので（笑）、あとでまたメールしておきます。

そんなこんなで、アムステルダム入りした10/10は順調なスタートになったのでした。

2018年10月11日 (Day1)

ここからが、「Forword with Google for Education」の本番です。





講演内容については講演内容編で書きますので、ここではザックリとスケジュールを紹介します。

9.00 - 9.30am

Breakfast and networking

9.30 – 9.45am

Main session and ice breaker

9.45 – 10.00am

Welcome to Forward with Google for Education

Welcome to the event, let's set the education scene.

John Vamvakitis, International Director of Google for Education

10.10 – 10.25am

Why risk-taking matters

An activity about risk-taking, failure and why they are important.

Mariolein Plas, Northern Europe Lead, Google for Education

Marc Sanz Lopez, Southern Europe Lead, Google for Education

10.25 – 11.05am

Google for Education Customer Spotlight

What can we learn from a school that starts with imagination?

Liz Sproat, Head of Google for Education EMEA

Rob Houben, Manager, Agora & Niekée Roermond

11.05 – 11.25am

Break

11.25 – 12.00pm

Keynote: Machine Learning, a tool for human living and learning

What is Machine Learning (ML)? Why is it so important? JR will demystify machine learning and reflect on the possibilities for education. Hear how ML is changing Google, education tools, and our world.

Jonathan Rochelle, Product Management Director, Google

12:00 – 1.15pm

Lunch

1.15 – 1.35pm

Keynote: How technology can enhance curiosity and human relationships

Michael Madaio, Carnegie Mellon University

1.35 – 3.55pm

Workshop: Part 1 – Setting audacious goals, empathy and ideation

Tackle your education challenges with 10x thinking.

3.55 – 4.25pm

Student inspiration

5.05 – 5.20pm

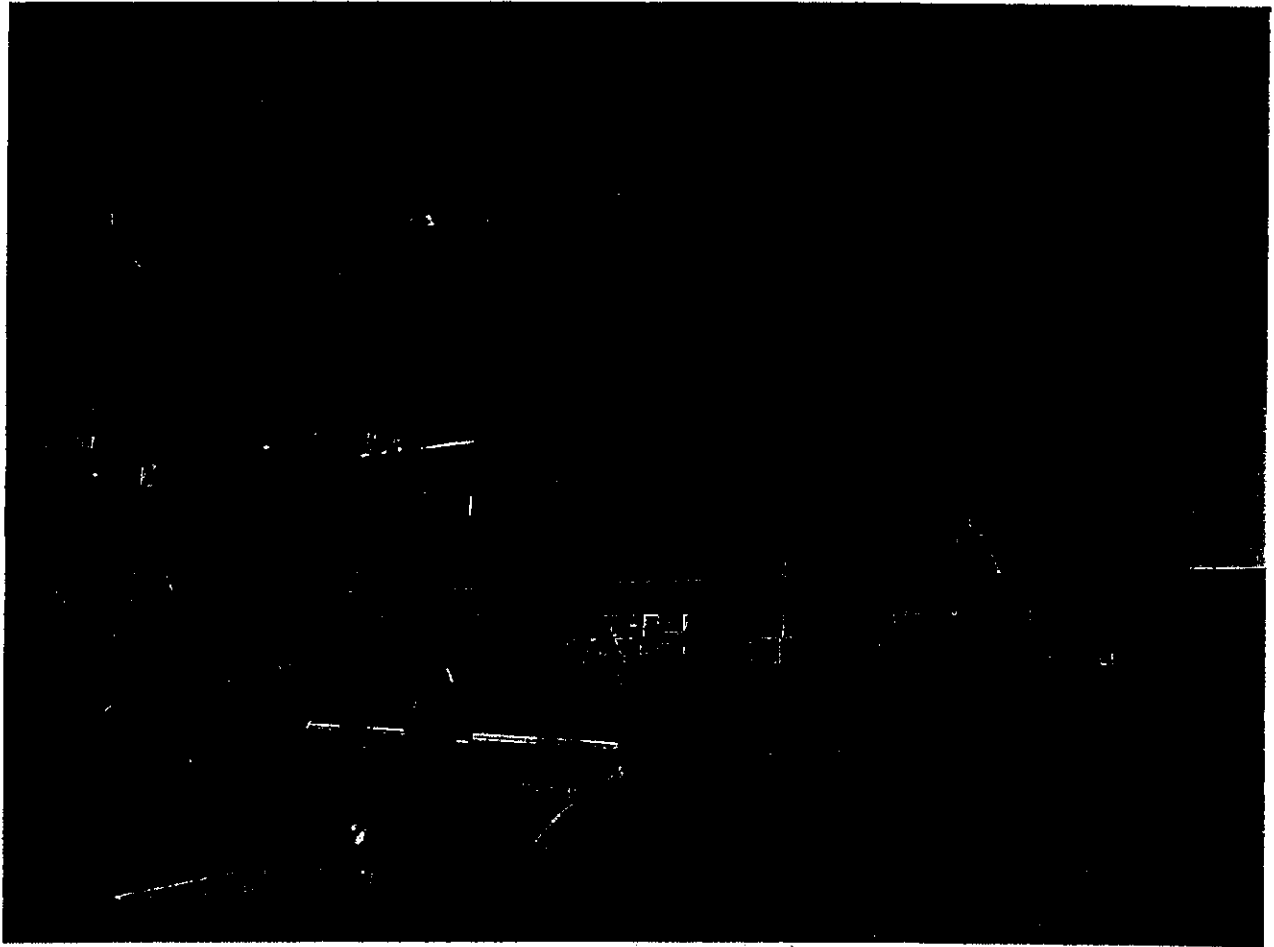
Day 1 close

5.30 – 9.30pm

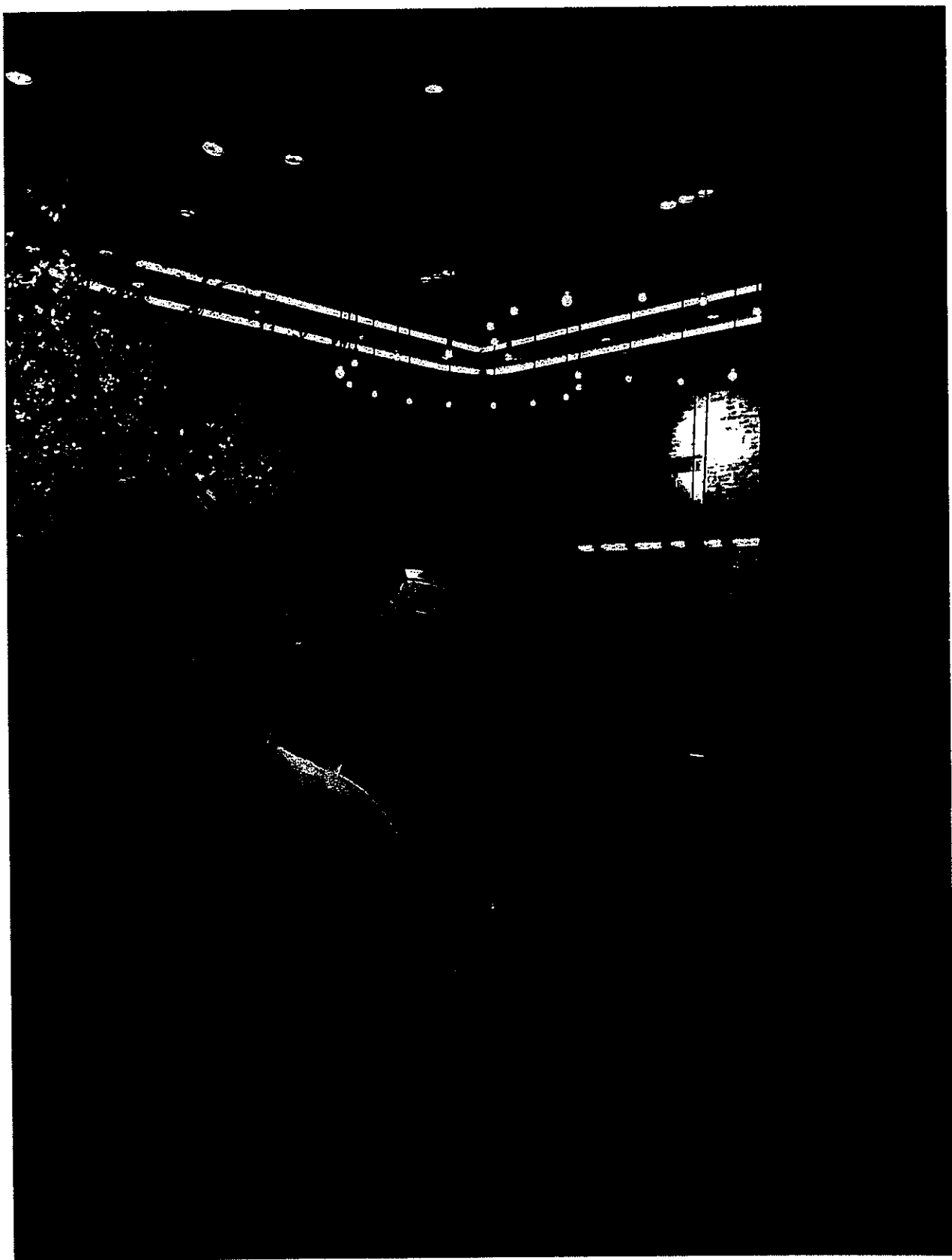
Dinner and evening party

Exchange insights and celebrate with delegates at an evening party designed to show off the best of Amsterdam.

はい。とりあえず、スケジュールがビッシリだったということを伝えたかったのです。Day1をクローズした後は、参加者全員でディナー会場へ移動。



船で移動したのですが、アムステルダムって船の上で食事するのが文化なのか流行ってるのか、そういう人達がたくさんいて驚きました。全然アムステルダムのこと知らなかった。



写真に映ってるのは、ディナー会場で隣の席になったフィンランドからの参加者。教育の話ではなく、僕がフィンランドに行った話や、音楽（メタル）の話で盛り上がりました、すみません。

帰りは船ではなく、シャトルバス。部屋に帰って、すぐ寝ました。

2018年10月12日 (Day2)

そしてDay2のスケジュールはこんな感じでした。

9.00 – 9.30am

Breakfast and networking

9.30 – 9.50am

Opening keynote

Andreas Schleicher, Director of Education and Skills, and Special Advisor on Education Policy to the Secretary-General at OECD

9.50 – 10.10am

Building future skills

Head of Talent and Outreach Programs at Google EMEA, Amanda will discuss how we can prepare students for their future, how we build a culture of innovation and how we recruit and retain talent at Google.

Amanda Timberg, Head of Talent and Outreach Programs, EMEA, Google

10.10 – 10.30am

Fireside chat

Amanda Timberg, Head of Talent and Outreach Programs, EMEA, Google

Andreas Schleicher, Director of Education and Skills, OECD

Moderated by Dean Stokes, Google for Education

10.30 – 10.50am

Break

10.50 – 11.10am

Keynote: Driving innovation in Finland

Hear about risk-taking, fostering an entrepreneurial spirit and how Finland approaches innovation.

Anneli Rautiainen, Head of Innovation Unit, Finnish National Agency for Education

11.10 – 11.25am

Talk: Google's culture of innovation

How does Google develop a culture of innovation and foster high performance ways of working?

Rania Hadi, Google for Education

11.25 – 11.55am

Workshop: Part 2 – Prototyping and testing our ideas

11.55 – 12.40am

Lunch

12.40 – 1.55pm

Workshop: Part 2 – Prototyping and testing our ideas

2.15 – 3.00pm

Ask Google anything and event close 9.00 – 9.30am

Breakfast and networking

9.30 – 9.50am

Opening keynote

Andreas Schleicher, Director of Education and Skills, and Special Advisor on Education Policy to the Secretary-General at OECD

9.50 – 10.10am

Building future skills

Head of Talent and Outreach Programs at Google EMEA, Amanda will discuss how we can prepare students for their future, how we build a culture of innovation and how we recruit and retain talent at Google.

Amanda Timberg, Head of Talent and Outreach Programs, EMEA, Google

10.10 – 10.30am

Fireside chat

Amanda Timberg, Head of Talent and Outreach Programs, EMEA, Google

Andreas Schleicher, Director of Education and Skills, OECD

Moderated by Dean Stokes, Google for Education

10.30 – 10.50am

Break

10.50 – 11.10am

Keynote: Driving innovation in Finland

Hear about risk-taking, fostering an entrepreneurial spirit and how Finland approaches innovation.

Anneli Rautiainen, Head of Innovation Unit, Finnish National Agency for Education

11.10 – 11.25am

Talk: Google's culture of innovation

How does Google develop a culture of innovation and foster high performance ways of working?

Rania Hadi, Google for Education

11.25 – 11.55am

Workshop: Part 2 – Prototyping and testing our ideas

11.55 – 12.40am

Lunch

12.40 – 1.55pm

Workshop: Part 2 – Prototyping and testing our ideas

2.15 – 3.00pm

Ask Google anything and event close

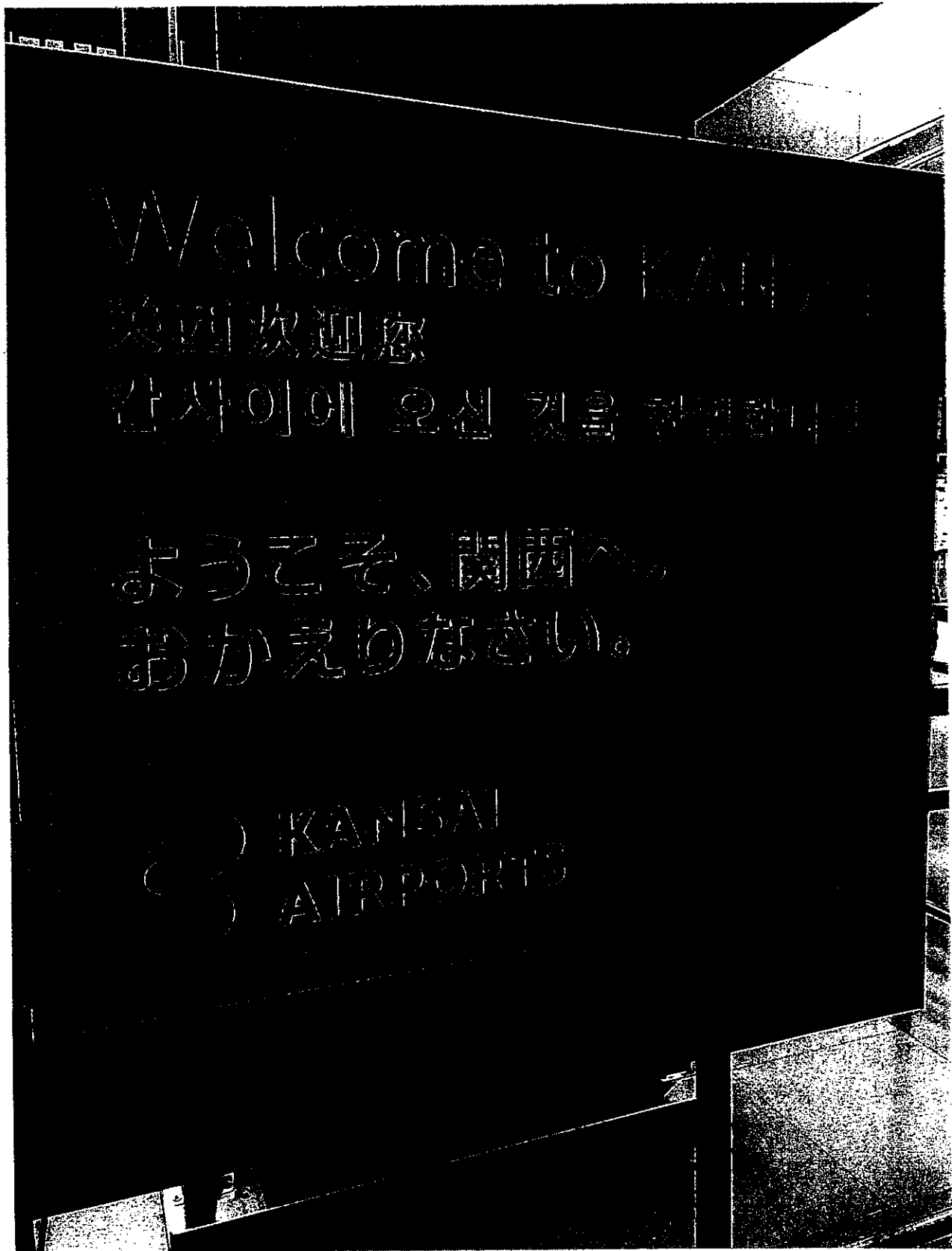
現地時間15時ぐらいに全ての日程が終了したわけなんですけど、帰りの飛行機（直行便）は14時台とかなので到底間に合わず、もう1泊することが確定していました。

というわけで、脳内整理もしたいところなので日本チームでディナーの詳細だけを決めて、部屋に戻って脳内整理。時間が全然足りず、ディナーの約束の時間になったので現地集合。そこで、人それぞれ感銘を受けるポイントが違うんだなあということを再認識（冷静に考えたら当たり前ですがw）。いろんな角度からの、今回のイベント全体で得た知見を知ることができて、非常に有意義なディナーになったと思います。

2018年10月13日（帰国）

朝を迎えて、朝食後。現地時間9時でYouTube市政報告会を行いました。

終了後、荷物をまとめてチェックアウト。空港に向かい、搭乗手続き等を問題なく終えて、大阪に帰りました。



こんな感じで、スケジュール詰め詰めで無駄のないオランダ遠征となりました。講演内容編、ワークショップ編、今後の展望編も頑張って書いていきますので、お時間のある時にご一読いただければ幸いです！



投稿者: 大阪市会議員 杉山みきと

大阪市東淀川区選出の大阪市会議員（大阪維新の会）。最先端ICT都市大阪を目指して活動中。IT企業を退職後、WEB制作系自営業、大阪市会議員秘書を経て当選。日本維新の会と大阪維新の会の広報局を兼務するIT担当。大阪維新の会大阪市会議員団総務副会長。今年度は財政総務委員会、一般決算特別委員会に所属。都構想戦略本部広報担当。 大阪市会議員 杉山みきと のすべての投稿を表示



大阪市会議員 杉山みきと / 2018年10月14日 / 活動報告, 視察

杉山事務所はここにあります！

LINEで送る

先日のブログでも紹介した通り、Googleから日本人で初めての招待をいただき、「Forword with Google for Education」という教育イベントに参加してきました。速報としてYouTube市政報告会を行ったので、全体的な内容はこちらからどうぞ。

第3回YouTubeでやっちゃう市政報告会@アムステルダム...



イベントの概要、そこで学んだこと、これからやろうと思っていることなどは既に速報としてYouTube市政報告会でお伝えしました。

書きたいことを自由に書き始めると長くなりすぎる懸念があるため、ブログでは

- ・ 時系列編
- ・ 講演内容編
- ・ ワークショップ編
- ・ 今後の展望編

の4つに分けて記事を書いています。

では、講演内容編のスタートです。

Day1

そもそも、英語で講演されるわけなので通訳を準備していただいていたいました。同時通訳の人からの音声が届く機器を身に付けて、準備万端です。



イベントを通して、ホスト役（司会）をしてくださっていた英国地域教育マネージャー。



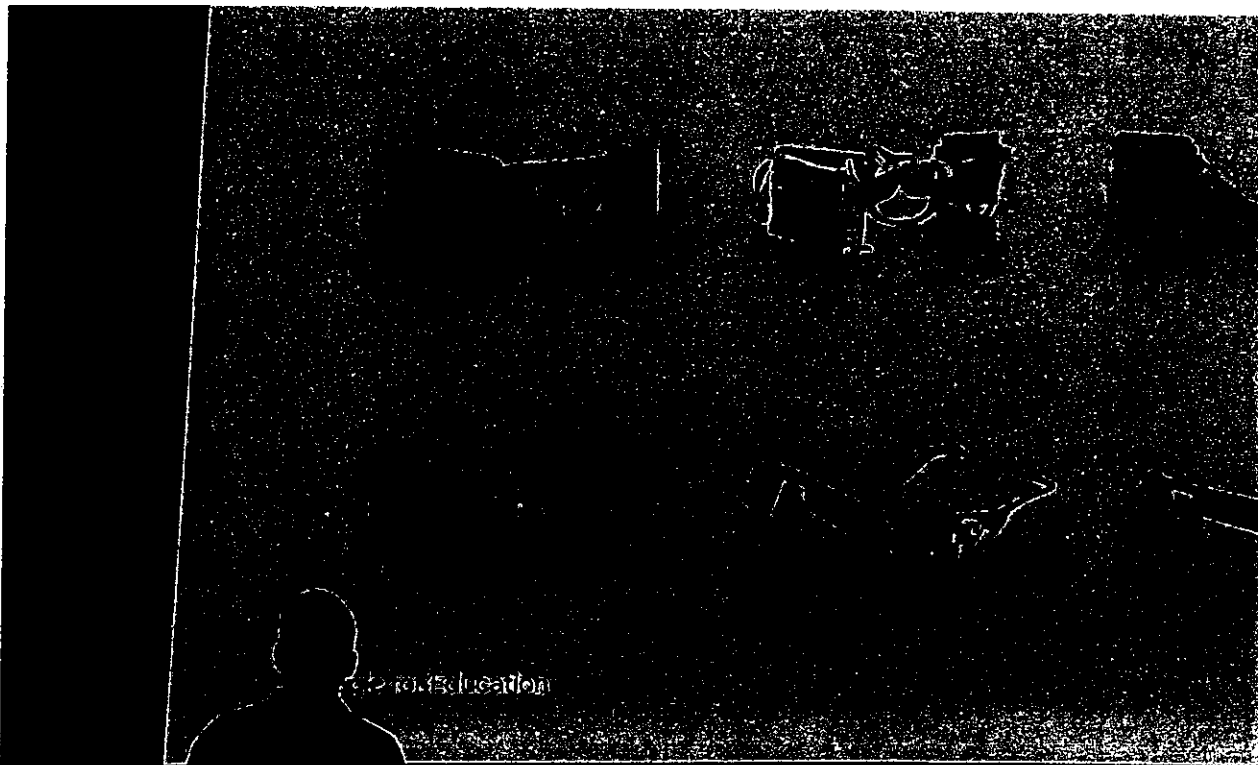
全体的なテーマの説明として、「世界中でリスクをとっている方々の事例のシェア」「リスクに対してどう取り組んでいくのか」「どうやって周りを参加させていくのか」という部分を強調されていました。

1人目

John Vamvakitis

Director, International, Google for Education

アメリカ以外の地域を見ている一番えらい人（シンガポールからきてます）



まず、創業期から今までにおけるGoogleの話。

テクノロジーをテコとして、これからもイノベーションを起こしていく。
7つのプロダクトに10億人のユーザーがいる、イノベーションを駆動する。
常に革新、革新こそがドライバー。それがGoogle。

Google glassというプロジェクトがある。

残念ながらうまくいっておらず、市場からは消え去った。しかし、まだ終わったわけではない。イノベーションは、勇気を持って勇敢に飛び込んでいかなければならない。経験から学ぶ。失敗もあった、成功もあった。吟味して学んで先に進む。そして、日常生活にどう絡ませていくのか。

目は魂の窓だ。

世界中で視覚障害が増えているが、医者が足りない、必要なトレーニングも足りない。そこで、Googleは診断、トレーニングを補完するというイノベーションに挑戦した。網膜スキャンでそのまま診断できるようにして、得られたデータは機械学習を通して精度を高めていった。その結果、95%の正しい診断というのを実現した。実は、医師が91%なので、すでにその水準を超えた。

医師の数は限られている、仕事を奪うわけではない。これからの時代はスキャンングによって、

- ・喫煙者なのかどうか
- ・どんな病気を持っているか

など、さまざまな状態を発見することができる。

Googleでは既に、高等教育において学生1人1人に対してのスキャンを実施し始めた。これにより、進学率・卒業率について早い段階で判定することができるようになった。それがわかるから、個々に対してよりパーソナルな対策、教育ができる。最初は盲目の疾病判定から始まったが、色々などころに応用できるようになっている。イノベーションは必ずしも直線型ではない。ここに集う参加者のそれぞれが、今後も様々なことに挑戦していくことを願っている。

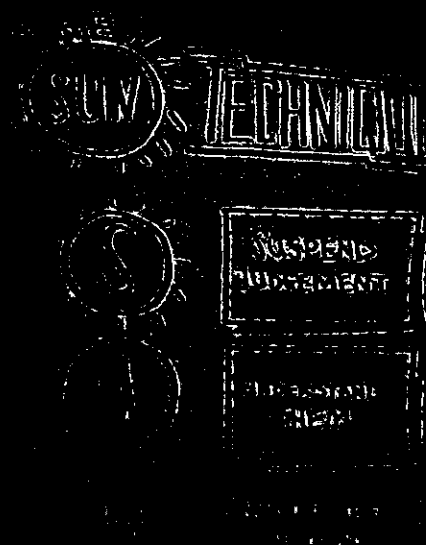
[杉山メモ]

大阪でも、できることならば、よりパーソナルな教育をしたいですね。しかし、教師が足りないという課題を抱えています。これは大阪のみならず、全国的な課題ですが、テクノロジー・イノベーションで解決することができるのではないかと思います。具体的な提言は、今後の展望編で書く予定です。

2人目・3人目

Marioein van der Plas & Marc Sanz Lopez

Google for Education



「リスクを取ることと、クリエイティビティはつながっている」

World economic forumが発表したデータによると、大手企業の人事（採用）において2015年-2020年の間に重視される能力として、クリエイティビティが急上昇した（10位▶3位）。

そもそもクリエイティビティとはマインドセットであり、習慣であり、物事に違う形でポジティブにアプローチしていくことを指す。クリエイティビティ自体を習慣にしていける必要がある。例えば腕を組んでみて！と言われて自然に組める組み方は人によって違う。じゃあ、自然に組めるほうではない逆の組み方をし続けて！と強制した場合どうなるか。60日間程度で違和感がなくなるとされている。

クリエイティビティは天性のものだという意見もある。実際に1/3は天性のものかもしれない、しかし2/3は教育で育てることができるものだ。子どもが最もクリエイティブな存在だという例を示してみます。

私の5歳のこどもにバイクをプレゼントした時の話。まずはその箱を見て、箱で遊んだ。それから中身を取り出して、バイクが宇宙船になったり、警察車両になったり。彼はバイクでいろんな遊びを考えて、作った。決まった固定観念があれば、それはできなかったかもしれない。大人は90%ぐらい、固定観念に締め付けられている。そこから解き放たれなければならない。

イノベーションとは、アイディアに対してリスクを取らなければならないものだ。居心地の悪いところから持っていくために、手の届く目標を作る。スモールサクセス。それが人々をモチベートしていく。常にイノベーションは、居心地の悪いところから始まるものだ。教員をモチベートするために、手の届く目標、スモールサクセスが必要。

[杉山メモ]

後半部分の、教員をモチベートするために手の届く目標、スモールサクセスを作るという部分がめちゃくちゃ刺さりました。具体的な提言は、今後の展望編で書く予定です。

4人目

Niekee Roermond

Manager, Agora school

Forget what you know about teaching.
start with what you really know about learning!



「学ぶことを教える」

私の学校は、こどもたちが学びたいということを学んでもらうという方針で運営している。それをもとにディスカッションして、いろんなものが生まれてくるんだ。

教えなければいけないという指導要領に縛られて、教師が警察になってはいけない。「静かに取り組みなさい!」「そんなことをしてはいけません!」「これをやりなさい!」というのは警察的だ。我々は教育者であり、警察ではない。

娘の自転車の話をします。

ある日、近所の方が私の娘に自転車をプレゼントしてくれた。身体が大きくなって、サイズが小さいからということだった。

娘は初日は喜んで乗ったが、数時間で飽きてやめた。どうなるのかなと思っていたら、翌日「また乗りたい」というから好きにさせた。しかし、またすぐにやめて、その次の日に「また乗りたい」、すぐにやめて、更に翌日「乗りたい」と言った頃には、彼女は1人で自転車を運転することができるようになっていた。私のサポートを必要としなくなった。

それを見た、自転車をプレゼントしてくれた近所の方は驚いた顔をして、娘の年齢を確認してきたので「2歳半」だと答えた。すると血相を変え

て、自分の5歳の息子に自転車トレーニングをさせ始めたんだ。でも、結果がどうなったか。彼は自転車のことが大嫌いになってしまった。

ここで得られる知見としては、「同じ時に始めることは必要ない」ということ。自転車に乗りたと思って、乗ろうとするから乗れるようになる。年下が乗ったから乗らせる＝嫌いになる、これが最も愚かなこと。強制してはいけない。しかし、大きくなればなるほど比較してしまうのが親である。大切なことは、大人がゴールを設定するのではなく、学生自身がゴールを設定し、目指すことである。それがあるから、プロセスをこなせるんだ。ルールを自分でこなしてマスターしていくという道中には失敗もたくさんあるが、それを重ねて前に進むのが我々の人生でもある。

そして私は、とりあえずわからないことがあったらググれと生徒に言う。ほとんどの知識と情報というのは学校の壁の外にあるのである。

もうひとつ大切にしていることは、子どもをそれぞれ、個別に扱うということ。みんな画一の存在ではないからそれぞれを尊重、尊敬していく。だから、平等というのはいらないんだ。

子どもたちには、社会人としての学習者になってもらうマインド、ネットワークを作って泳いでいく力、これをつけていってもらわないといけないと考えている。

[杉山メモ]

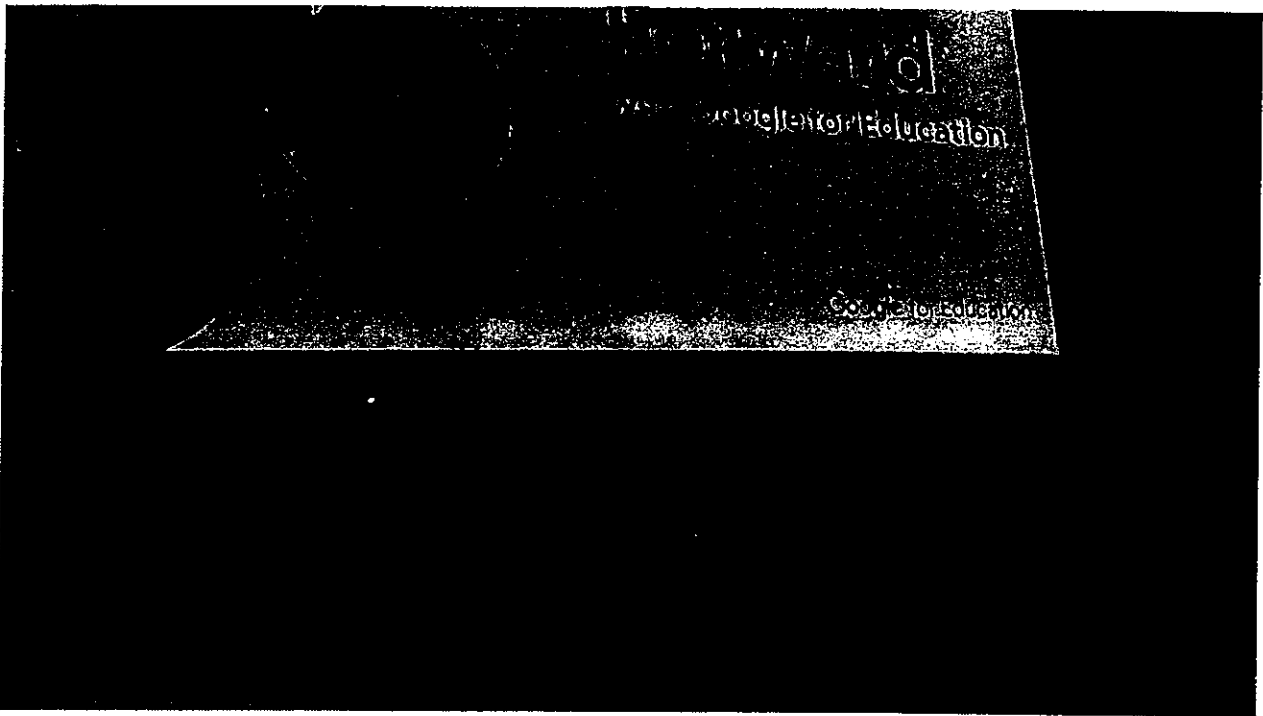
考え方として、非常に時代の潮流も捉えていて共感した。わからないことはググればいい、これからの時代の社会においては当然のことで、教員だって全知全能ではない。とにかくググる、ググる力というのは社会で必要になってくる力だから、学生時代から培っていく必要がある。そして、自分自身でゴールを設定してプロセスをこなしていくという作業も大事で、そこを飛ばしてしまうと学習効率が悪くなり、むしろ学習という行為に嫌悪感を抱いてしまう。結果的に「急がば回れ」的なことになるから、時間をかけてでもゴールを設定させることが必要だと感じた。

そして、平等というのはいらないという発言は、1人1人に合ったことをやっていくという文脈なので、誤解のないように解釈していただきたいです。具体的な提言は、今後の展望編で書く予定です。

5人目（4人目の登壇者と対談するための登壇）

Liz Sproat

Head of EMEA, Google for Education



子どもたちは、

- ・なぜそれをするのか
- ・なんのためにするのか
- ・時間をどれくらい費やすのか

これを知りたがっている。

教師たちは2週間ごとに不安になっている。しかし、状況は常に変わっていくもので、それが当たり前だ。スッキリしない、モヤモヤするという親も実際にいるよ。そんな時には学校に来てもらって、私が話もするようにしている。

Q. エリート向きで、一般向きではないという批判は出ないの？

A. 生徒を試験で選抜しているわけではないし、みんな入りたい。でも設備の限界があるから全員を受け入れるというのは今のところ不可能なんだ。

Q. 教員をどう訓練してるの？

A. 5年前は僕もその点については不安を持っていたよ。でも、なんで先生になりたいと思ったんだろう？先生とは子供に何かを教えたい、それが教育の原点でしょ。それがモチベーションなら、解決できるんだ。成長、発展、そういうマインドセットを持っていれば教師も育っていける。僕の学

校では、週5日の中で1日は、他のクラス・教師のものを見て学び合うという時間を設けている。

そして、テクノロジーの話をする、すでに学生みんなにiPadをもたせて、G Suiteを使ってもらっている。Googleドライブ、Googleカレンダー、当たり前。そしてこれは、すべての学校でできる。重要なのはマインドセット。今知っていること（知識・常識）は忘れる。多くの学校は、車の製造工場みたいな存在になっている、それを忘れる。違うアプローチ、クリエイティビティ。そしてその考え方自体、こどもにとってもすごく良いことだし、そういう人材を企業が求めている。そういう環境で育つ子が、社会で活躍できる人材になる。

Q.それぞれの学校でリスクを取ることにに対するアドバイスは？

A.みんなできるよ。やってみることだよ。自分の子供達にやっていることを、学校でやればいいんだ。

Q.学生からのフィードバックはどうですか？卒業生のこととか。

A.まだ6年なのでフィードバックはこれからだけど、中退する生徒が比較的多い。それは、やりたいことが決まっていくから。あとは、卒業生は起業したりして活躍している。

Q.政府から、こういう学校の設立をどう許可を取ったか？

A.オランダでは、カリキュラムのルールがない。極端な話、一日中自転車に乗ってても良い。結果さえ出せば良い。

Q.ダウン症のこどもADHDなどのこどもに対しては？

A.うちは同じように扱い、敬意をもって接しているよ。

[杉山メモ]

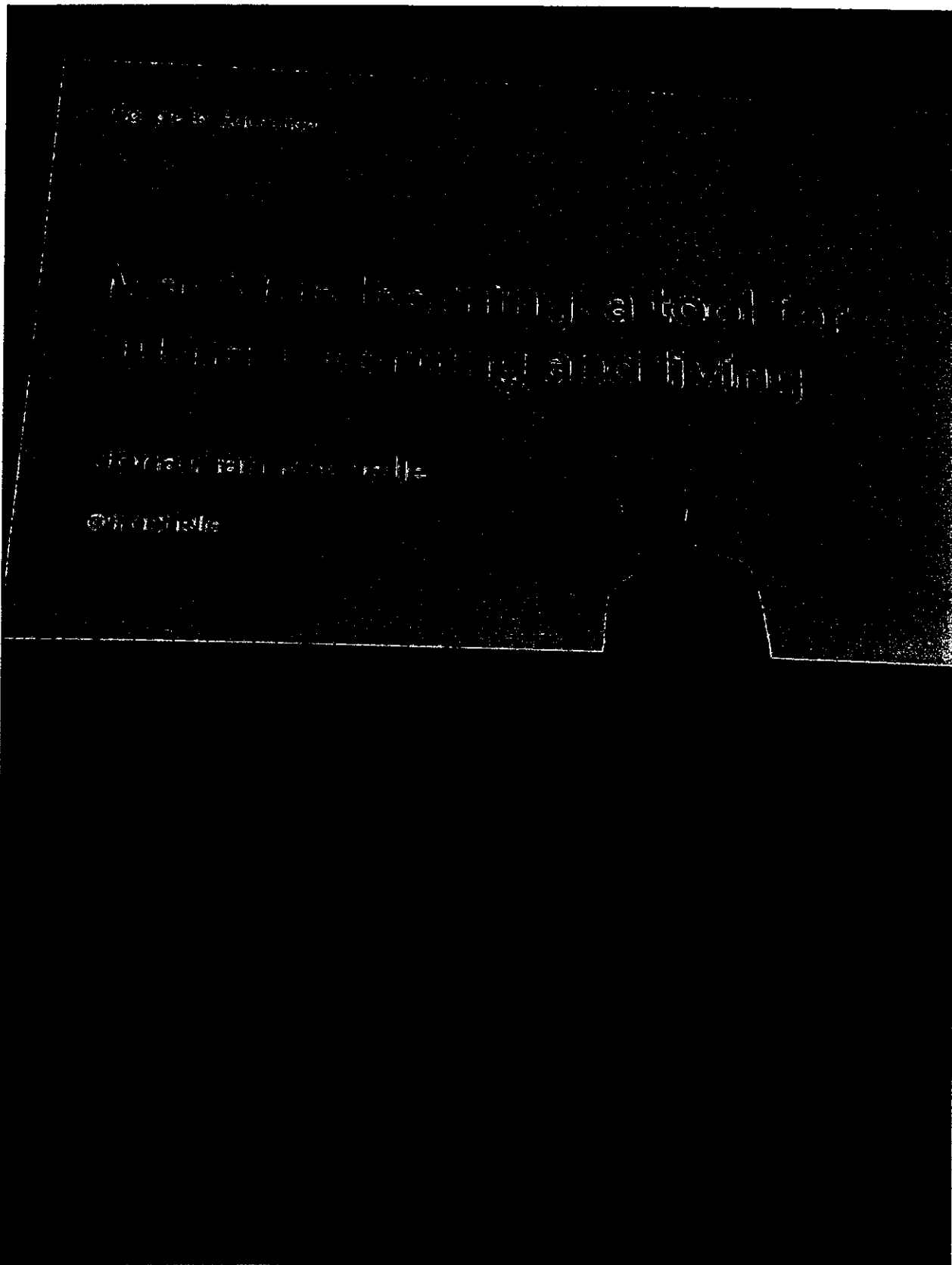
オランダという比較的自由な環境の国だからこそこできることも実際にあると思うけれど、本当にこどものことを一番に考えていて感銘を受けました。世界各国の教育関係者が、やはり教員の訓練については頭を悩ませているということもわかりましたし、でもそれは解決できる問題だという力強い事例も提示されました。週5日のうちの1日を教員同士で学び合う時間として設定するあたり、Googleなどの企業が導入する20%ルールに通じるものがあり、これを実現するためにテクノロジーの力を借りて、教員の業務効率化を大胆に実現していく必要があると感じたところです。具体的な提言は、今後の展望編で書く予定です。

6人目

Jonathan Rochelle

Google Appsの創設者

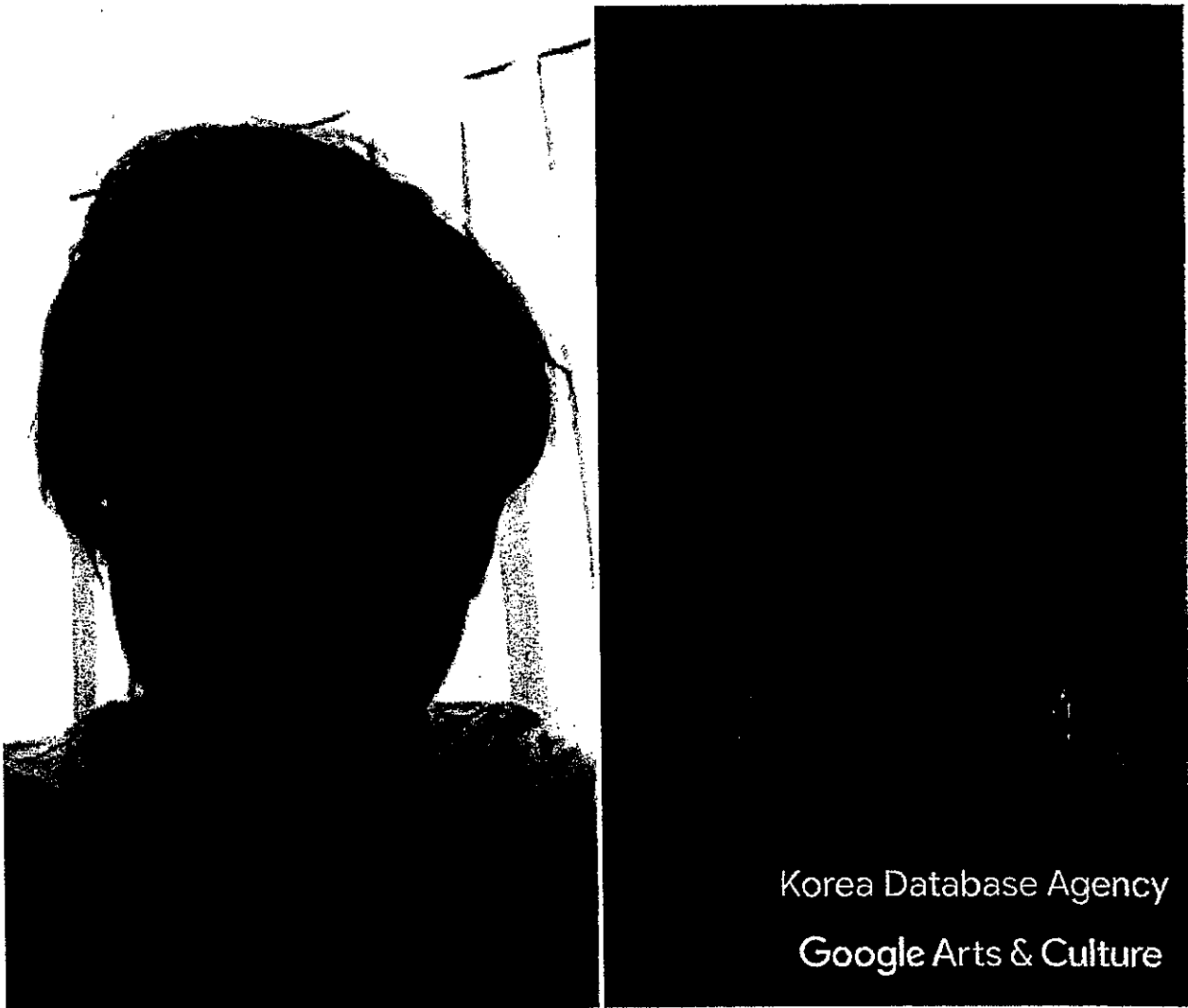
スプレッドシートはワシが作った、とサラっと言うレジェンド。



「マシンラーニング・ヒューマンラーニングについて」

社会に対して、人類に対してどういう影響があるのか。例えばGoogle Art&Cultureのアプリを使ってみたい。経験、データ、失敗から学ぶマシンラーニング。自撮りした画像をもとに、絵画・歴史上の人物との類似性を分析、開示する。

55% Portrait of Song Byeong-u
Chae Yong-sin



[杉山メモ]

帰国・帰宅してお風呂上がりにブログ書いてたのでGoogle Art&Cultureのアプリを試してみたらこんな感じ。うーん、微妙！笑

マシンラーニング（機械学習）は3つに分類される。
Supervised Learning=単純なYES or Noでの判定

Unsupervised Learning=誰かがクラス分けやタグ付けをしたものから判定
Reinforcement Learning=長期間のフィードバックにより判定（チェスの勝ち方など）

どうやってスマートになるかという作業は十分にやってきたが、現実の世界でどのように活用していくか？という部分がこれまでは薄かった。

Googleのミッションは、世界にあるインフォメーションをうまく組織付けて、普遍的にアクセスできて有益なものにすること。世界がすべての情報を共有することによって非常に大きな力を生む。インフラの発達によって、これが更に加速している。開発者がさらなる開発をすることができるようになってきている。

教育の場でAIはどのようなインパクトを与えることができるか。教育者を育てていくということが大切。学生の将来のために備えてあげる。75%の今の職場はなくなっている。テクノロジーがあるから、世の中がどうなっていくかを考えなければならない。学生は割とよくわかっている、問題は教師なんだ。

Googleは、この問題に立ち向かうために様々なプロダクトを発表している。

Google Science Fairは、世界中の13~18歳の学生が参加できるオンラインでの科学コンテスト。

CS Firstは、Googleが提供する無料で楽しいコンピュータサイエンス・カリキュラム。

Teacher Centerは教員向けのプロダクト。熱心な教育者は生涯学び続ける。教育者がさらに力を発揮できるよう、授業に役立つ無料のオンライントレーニングを提供している。

Google AI（日本語未対応）では、コード作成を学ぶだけでなく、熟練した機械学習実践家でも、スキルを開発してプロジェクトを進める上で役立つ情報や演習を見つけることができるようになっている。

学んで、失敗して、正しい答えを出すことができる。体験させて、経験させていく。学校の規模や予算は関係ない。Googleは、学生がいつでも、どこでも利用できるツールを提供していく。

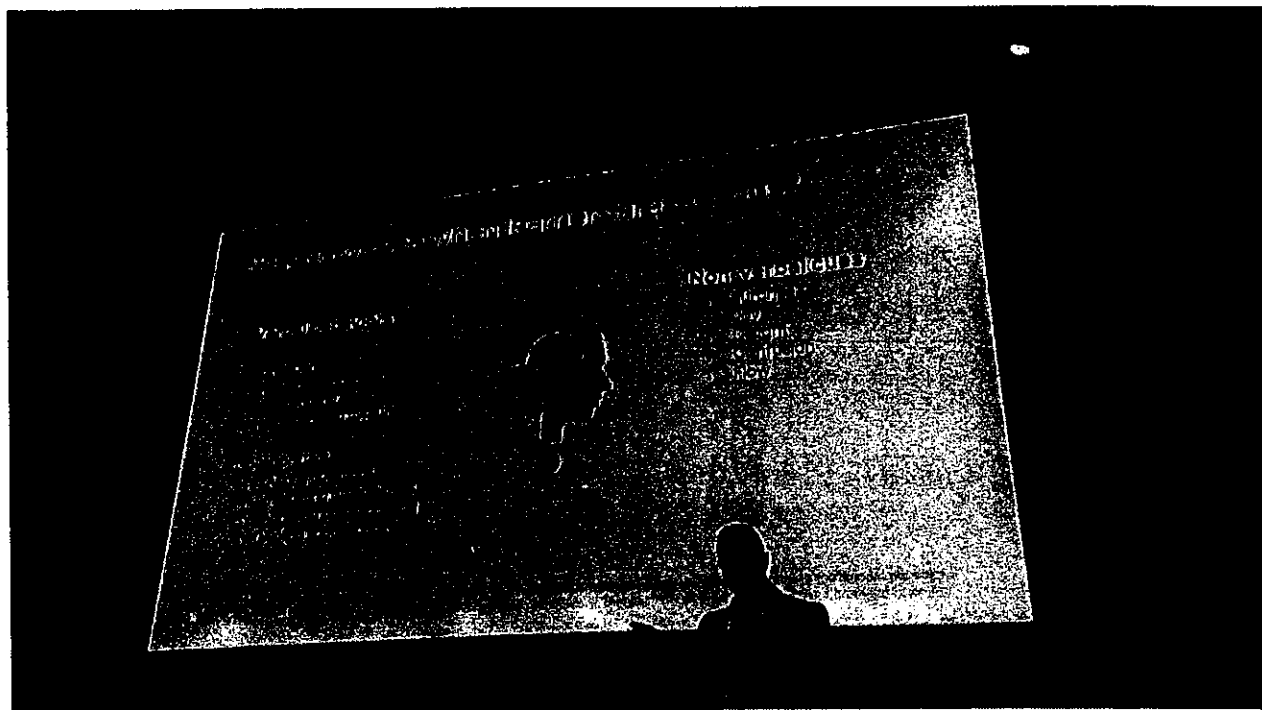
[杉山メモ]

特にTeacher Centerが凄いです。YouTube市政報告会でも触れましたが、具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。しかし、レジェンドの言葉には重みがありました。

7人目

Michael Madaio

Carnegie Mellon University



「ソーシャルエモーショナルスキル」

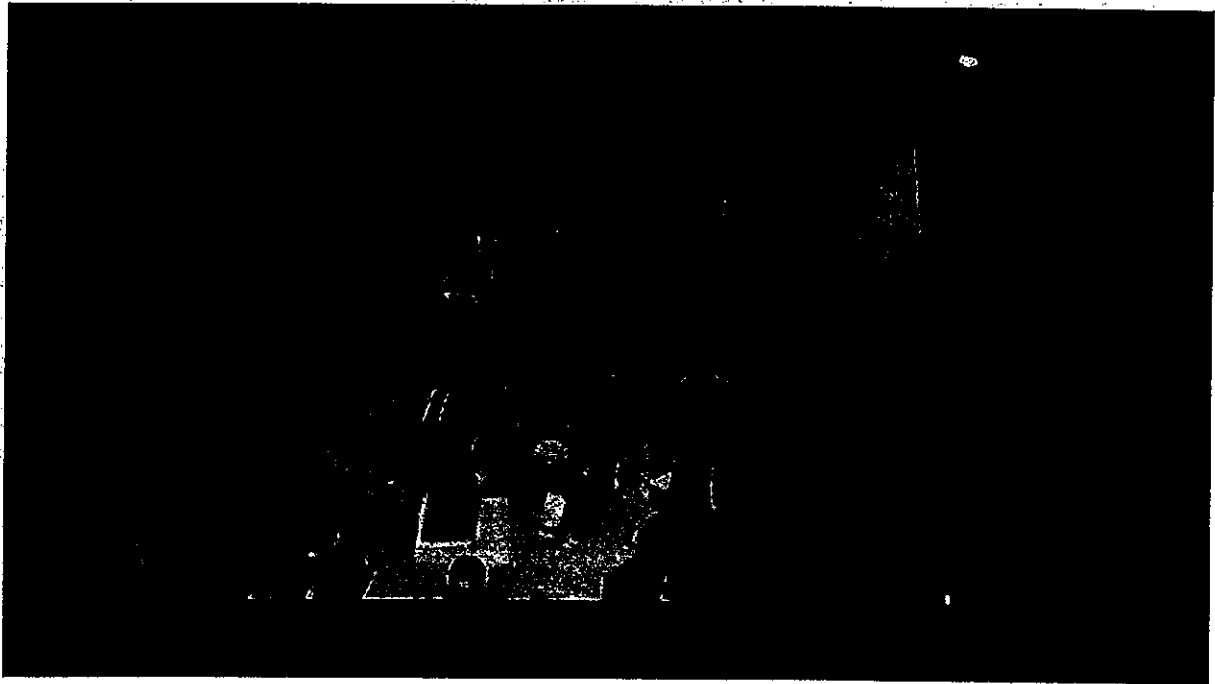
クリエイティビティ、コラボレーションのスキル。これがますますこれから重要になっていく。

学ぶ人の好奇心は最も大切だが、好奇心は教えることができない。好奇心を育てていく環境を作っていくことが大切。好奇心は最も難しいスキル、計測するのも学ぶのも理解するのも難しい。例えば好奇心を周りに話したときにどういう反応があるだろうか。良い反応があれば、その好奇心は更に前に進んでいく。そういう環境を作っていく。

テクノロジーが一体どのような影響をもたらすか、テクノロジーでエモーショナルコネクションを築いていくことができるのか、好奇心に好影響を与えるのか、それとも教員と生徒の間に深刻な障壁をもたらすのか。社会

性がこれからはどんどん重視されていく時代に突入するが、機械学習により、より理解することができるようになる。

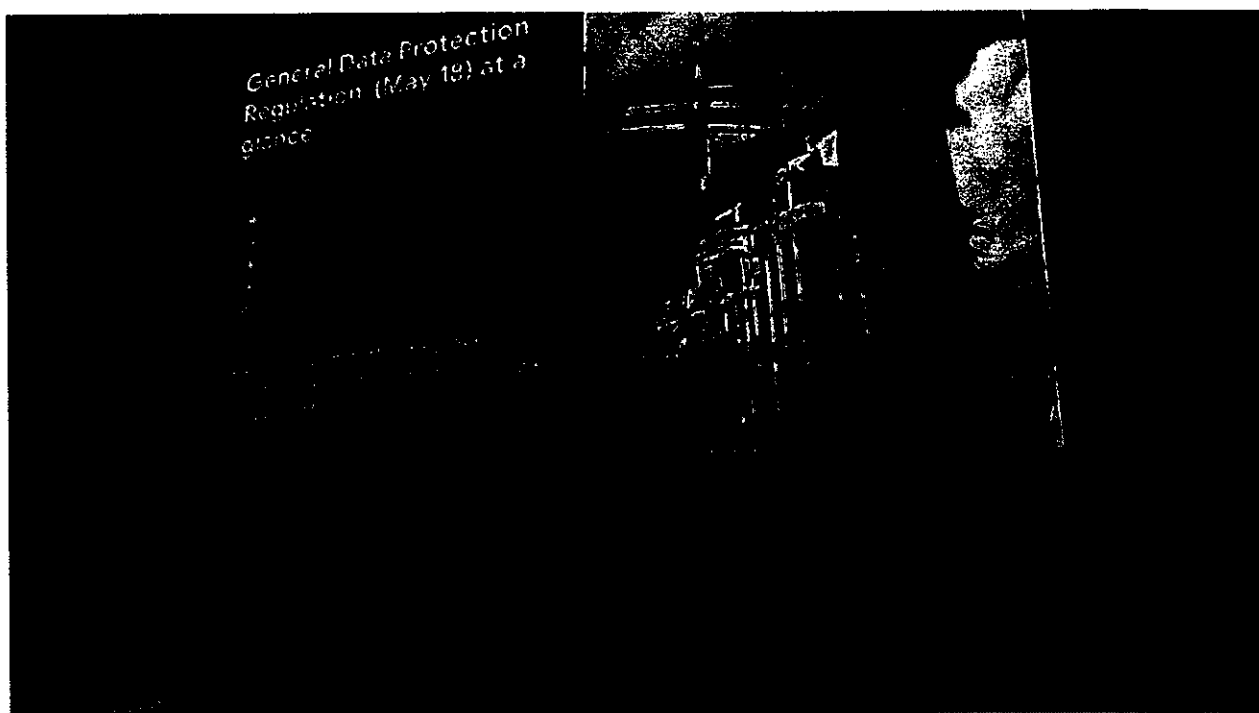
例えば、この動画（グループワークをしている生徒たちの様子）を見てほしい。



こういった動画データを用いて機械学習で分析することによって、一体彼らがどんなことに好奇心を見出すのか。好奇心が発現するセオリー・パターンを発見することができるようになる。それが、私達に対して好奇心というものを理解するアシストをしてくれる。そして、教員と生徒の間のラポール形成（学習者が安心して自己開示できる支持的教師風土の基本）にも寄与する。

[杉山メモ]

ここの部分は、日本チームとして一緒に参加した東京大学の先生がかなりおもしろいとおっしゃっていました。ラポール形成というのは結構なキーワードのようです。安心して自己開示できる支持的教師風土...まあたしかに、そういう関係性が構築できていないと気軽に質問とかしにくいでしょうし、かなり大事なんだろうね。教員の業務効率化によって、生徒とそういう関係を築いていくための時間的余裕を生み出すこと、生徒の好奇心パターンを的確に把握していくこと、その両方向性にもテクノロジーは寄与することでしょう。具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。



「パブリックセキュリティ：GDPR（法律）について」

学生のデジタル個人情報などの権利を守っていくことは大切です。一箇所にすべての学生のデータが集まるわけですから、その部分に対してプロテクションをかけています。授業中に作成したデータ、作品などの著作権は学生に帰属します。G Suiteのデータのオーナーは、Youということです。G Suite for Educationは広告もNGとしています。GoogleはEUと協力しながら非常に長い時間をかけて共にアップデートをしてきました。EU一般データ保護規則（GDPR）の枠組みに準じています。特定の重要情報が外部に流出しないようにロックがかかる機能も提供しはじめています。テクノロジーが学校の改善を加速し、生徒のためにもなっています。

学校だけではなく、英国政府やスコットランド政府などもG Suiteを使っているんですよ。

【杉山メモ】

行政体とパブリッククラウドサービスの関係性として切っても切り離せないのが、セキュリティ面への不安と、利用規約の細部で適合するかどうか、という部分です。この部分に関して、Googleは柔軟に対応していくという姿勢を見せていて、既に事例もあるということで

す。これは、朗報です。Googleって、そんなに柔軟なプラットフォーマーだったんですね・・・！具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。

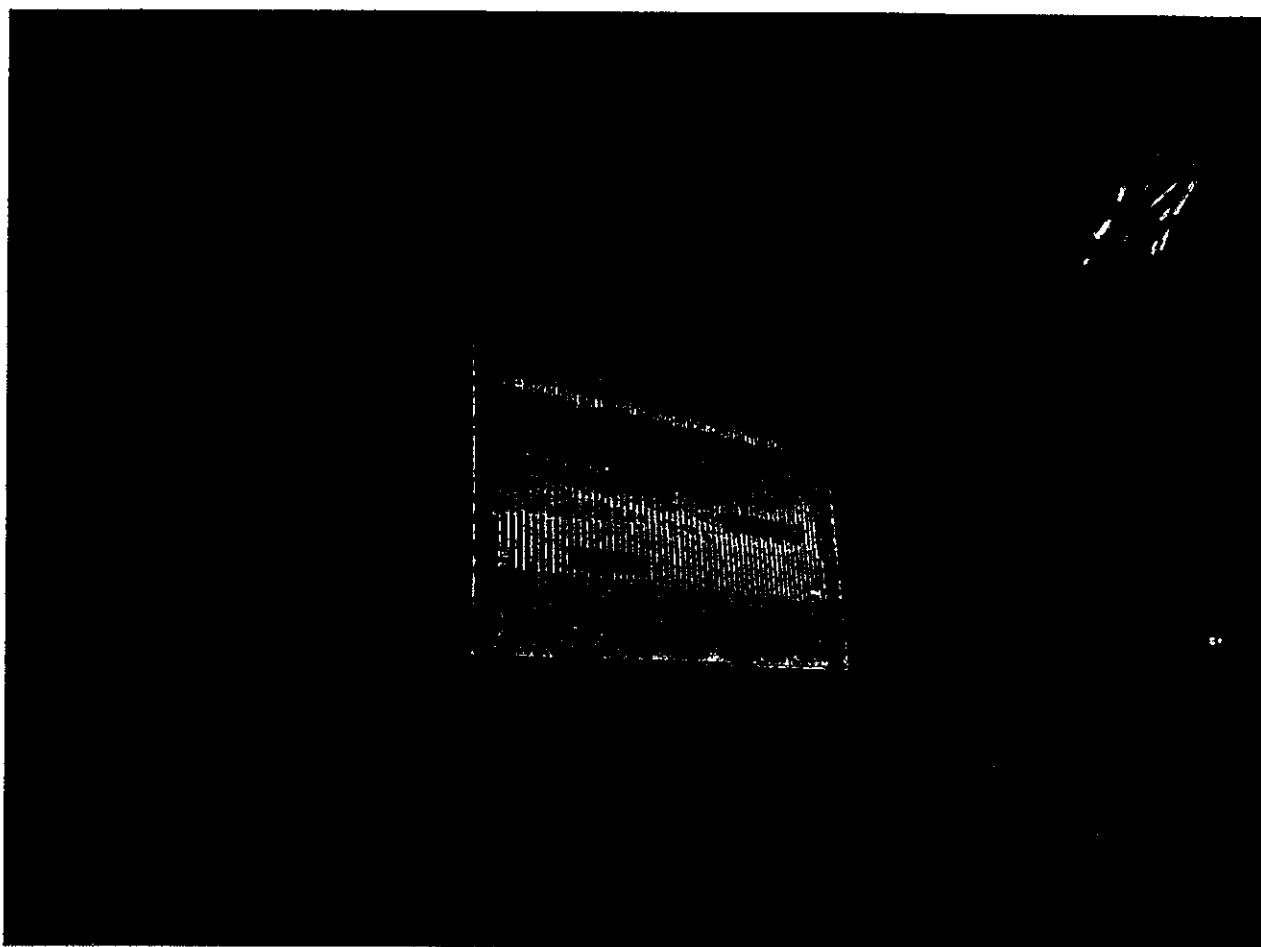
Day2

Day1の分を紹介するだけで膨大な量になってる気がしますが、気にせずDay2に突入していきます。ワークショップメインだからDay1より少ないはず...

9人目

Andreas Schleicher

Director of Education and Skills, and Special Advisor on Education Policy to the Secretary-General at OECD



子どもたちにとって大切なのは、我々の過去を知ることではない。広がっているバーチャルの世界に生きていくんだから、デジタル時代の中でどの

ような教育をしていくべきなのか。ネットはすでに一般的で水のようなもの（特に15歳はそう感じている）。

我々はロボットを教育するのではなく、ファーストクラスの人間を教育する。AIに足りない部分を人間に教育するということだ。こういう世界に向けて、我々は準備をしていくべきだ。若者の中でも、明日の世界への準備ができていない子が多い。社会のスピードは加速している。テクノロジーと教育の競争、シンガポールが今ランキングで、トップ。でも昔は低かったんだよ。テクノロジーは今後どんどん伸びるので、次の時代はテクノロジーを考案できる教育が必要になる。

ナレッジ、スキル。これは明日へ向けて必要なものであることは間違いない。しかし、ナレッジは補完することができるようになってきている時代だ。歴史や年号などは重要ではない。社会への洞察力が重要。いかに使いこなすか、という力が大事。他の人と連携して働くことができる、情緒的なスキル。勇気、リーダーシップのような能力。ソーシャルスキル。これが非常に大切になってくる。

態度、姿勢。何かを教えるのではなく、コンパスを与えてあげる。ナビゲーションを与えてあげる。これが重要な教育の役割。判断できるようにしてあげる、情緒的な社会的なスキルを与えること。いかに適切に、ナレッジやスキルを応用していくかという力。新しいものを考える力、イノベーションする力、価値を作る力。ジレンマや対立を解決する力、責任を持つ力。企業が求める人材とは、こういう人材になってくる。

将来を予測する力。我々の知識を教えることは簡単。若者たちには、将来を問いかける力を与える必要がある。クエスチョンする力。複雑な情報を処理してナビゲーションし、アクションする力を与える必要がある。

PISA（国際学力調査）で、カナダは国際的にいつも良いスコアを出している。クリティカルシンキング、コミュニケーション、問題解決力。良いスコアだ。

日本はどうだろうか？日本も、結構いいですね。尊敬力・共感力は日本は非常に良いスコア。しかし、起業家精神が0であるということも、もうひとつの特徴だ。

教員が自分の仕事に対してどのぐらいプロフェッショナル精神を持っているのか。この部分を強く持ってもらって、満足度の高い状態にあることが新しい時代の教師のあり方だ。

中国の教育は、最後の一銭まで子供の教育にお金を使おうというマインドになっている。ヨーロッパでは、あまりそういうことにはなりませんね。

子供は学習のやり方やテンポの違いはあれど、みな学ぶことができる。これからは、社会全体で公平・公正、子ども1人1人にあった学びの場が求められる。それは、テクノロジーの力があってこそ、実現できる。プロジェクトベース、子供のペース。教師の能力も求められてくる。これが、教師のプロフェッショナリズムにもつながっていく。科目についての知識よりも、子供の関心や問題提起について把握することが大事。先生が生徒に対して個人的に干渉、指導するという能力。先生と生徒の割合で先生が多くてもあまり効果がないことがデータの的にわかっている。重要なのは生徒と関わる時間。先生は生徒に興味を持つことが重要。

よく見る、よく話し合う、チームとしてできないか、こういうことが必要。だけど、現状やりきれない。PISAの上位国では、教師は専門性を高め、同僚と協力体制（横の協力）を作るってことが多く、これが大事。学校や行政が上記のような先生の活動を評価していかないといけない。

ただ保守的に、これまでのことを繰り返すのではない。新しいものを取り入れて、古いものを切り捨てる。そういう政策を、政治家が推進していかなければならない。

[杉山メモ]

イベント全体を通して、最も僕に刺さることを言い続けた人でした。かなりインスピレーションをいただいています。具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。

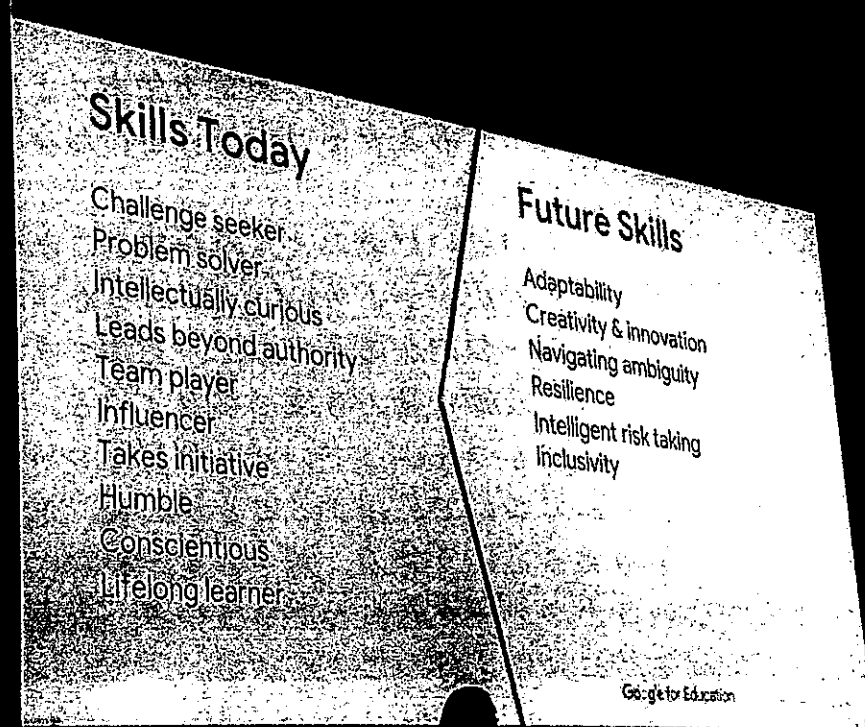
10人目

Amanda Timberg

Head of Talent and Outreach Programs, EMEA, Google

教員出身者で、現在Googleの採用担当

○



「未来のために学生を準備する方法、革新の文化を構築する方法、
Googleで才能を募集して保持する方法」

Googleが何を大切に考えて採用しているか。雇用主からの視点で語ります。

・学習する能力

学力というわけではない：挑戦する姿勢：自分以上の力を出して行く人：
違う視点で見れる人材

・リーダーシップ（指導力）

権力ではない、チームの中で一番ではなくても、精通している分野であれば引っ張って活躍するというような人。人々が100%のナレッジを持っていること、というのは入社時には期待しない。

・好奇心

好奇心や問題意識、認識力が大事。

○

・Googlyness

謙虚で、好奇心がある。他の周りの人をより良くしようとする姿勢。

リーダーシップの能力は重要。しかしここで言うリーダーシップ能力とは、10年~15年前に考えられていたようなリーダーシップ能力だけでは足りない。

例えば、adaptable (適合性)。変化に対応できるかどうか。

あるいは、答えがない問題、polarity (両極性) への対応能力も重要になってくる。息を吐くだけでは生きられませんよね、吸わなきゃいけない、両方大事。どちらかを選ばなければいけない時に、選べないような状況だとして出てくる。これが両極性。そういった問題にぶつかった時に、どう対処していくかパターンを探す力。ナビゲートする力、洞察力、決断力。

賢いリスクの取り方をするというのも重要。ミスから学ぶために、安全に失敗する。知的な失敗。

これらが現代のリーダーシップのスキルに必要とされている。

現在、必要としている能力 (現在の採用基準) は

- ・challenge seeker (挑戦力)
- ・problem solver (問題解決力)
- ・intellectually curious (知的好奇心)
- ・leads beyond authority (権限を超えてリードする力)
- ・team player (チームで活躍できる力)
- ・influencer (影響力)
- ・takes initiative (主導権を握る力)
- ・humble (謙虚さ)
- ・counscentious (良心的)
- ・lifelong learner (生涯学習者)

しかし、将来はこういう能力が重要になる

- ・adaptability (適合性)
- ・creativity & innovation (創造性)
- ・navigating ambiguity (答えのないものを模索する力)
- ・resilience (回復力)

- ・intelligence risk taking (賢くリスクを取る)
- ・inclusivity (包括性)

【21世紀に向けた最も大事なメッセージ】

親の役割というのが重要になってくる。先生は当然クリエイティブにやっていかなきゃいけないけど、そんなこと1人でやり切る余裕はない。先生同士で連携してやっていくほかない、そういうシステムが必要。社会全体で、教育という事業をやっているんだという気持ちにならなきゃいけない。

中国のように、権力側からのトップダウンで20年先を見据えて突き進むところもある。あるいはフィンランドのように、市民たちがボトムアップで作り上げていくところもある、日本もそういう国でしょう。

大事なことは、教育を、産業的な工業的な、事業としてやれるかどうか。中国ではできている。ヨーロッパでは、まだそういうところはまだできていない。中国から学ぶことは多い。今、自分ができることはなにか。学んでいく姿勢が大切。

教師に与えられた自由が、フィンランド教育の成功。教師の能力を信頼、独立性、自立性が与えられている。各教師が自分のカリキュラムを自分で作る。政府の政策をローカルニーズに合わせていく。地域ごとに学校ごとに。親たちの声も聞いて、校長、教師と3者で作っていく。生徒が学習の中心となり、教師がサポートし導いていくという考え方。リスクを取ってテストすることが可能。

[杉山メモ]

具体的に将来必要となるスキルを明示されたことが、非常に大きなことだと感じました。今の時代の流れ的に、まずはIT企業が強い風を巻き起こして、次第にIT業界に反映されていき、そこから徐々に民間企業に浸透していくという感じです。Googleのような企業が将来求めるスキルを公開したことによって、こうした流れが生まれてくるんだろうと思います。今のこどもたちが社会に出る頃には、競争相手は日本人だけとは限りません。海外人材、AIとも戦っていかなきゃいけない時代が、もう目の前にまで迫ってきています。急いで準備をしてあげなきゃいけないと強く思う次第ですね。後半のフィンランド教育の成功については、どこまでこれを効率的にやれるかという点、日本との状況の違いも勘案して考えていかなければいけないと思います。生徒が学習の中心、教師はサポート役という概念については

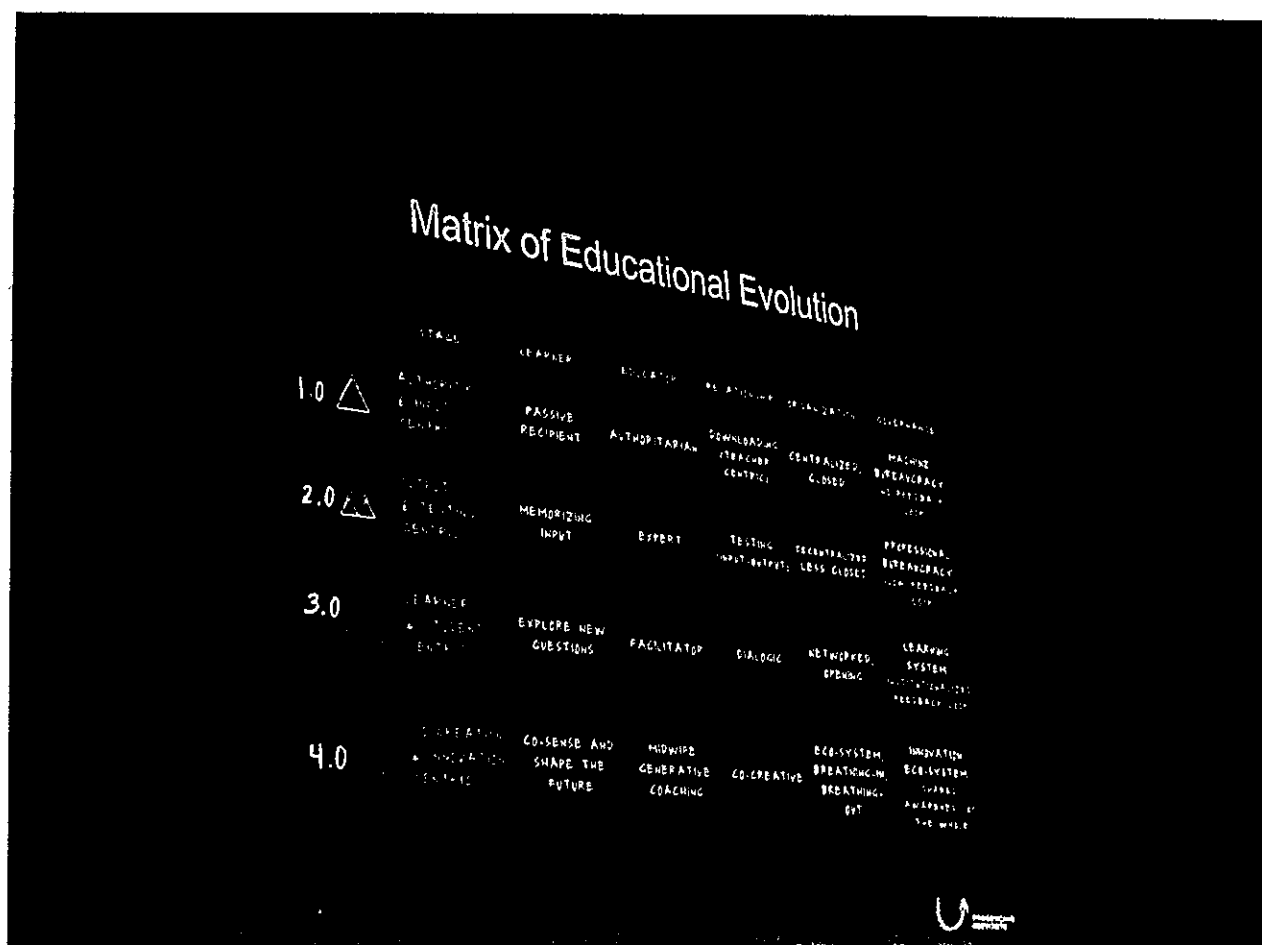
全面的に同意、早くそうになっていかなきゃいけないんでしょうね。具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。

11人目

Anneli Rautiainen

Head of innovation Unit, Finnish National Agency for Education

フィンランド教育省の教育責任者



フィンランドはヨーロッパで最も貧しい国だった。そこから今の状態に到達するために、どういうことをしたか。まずは、すべての人々が教育を受けるべきであるということ。1800年代の終わりに、それが実現した。すべての国民が学ぶ権利を持っている。人は財産。こういう価値観を国として持ってきた。

私の祖父は小さな村に住んでいて、その村には各家庭1件1件を回って読み書きを見てくれる家庭教師の先生がいました。祖父は中学校に行きたかったんだけど、貧しい村からの出身者は来てはだめだと校長に拒否されま

した。金がないから学べないと、泣いたんです。それから祖父はこどもには素晴らしい教育を与えたいという強い思いで生き、こどもには教育を与えることができました。良い教育を受けると、良い仕事ができるという世の中が昔のフィンランドだったんです。

そういう問題も解決し、次にフィンランドが抱えた問題は、急激に変化していく時代についていく教育をどうやって構築するのか。

教育者だけで問題を解決することはできない。様々なセクションの人々で解決していかなければいけない。まずは、各所で対話から始め、突き止めていった。閉鎖的で、他の社会と協力しない学校が多かったけれど、みんなで共通のゴールを設定し、道を考えた。

知識詰め込み型ではない。共同で、自分たちの将来を作っていく体制。将来を考えて目標を定め、そこに向けた協力体制ができているかを見ていく。コーチとしての教師の存在。上からの司令を待っているのではなく、内部で下のほうからも提案していかなければいけない。もちろん上からのフィードバックもある。すべてまとめて、共に前へ進めていく。上下の関係から、一緒にやるというシステムに変化させました。

政府の高官、役人が解決できる問題でもない。教師1人1人と共に解決していく問題。伝統的なやり方だけではなく、新しいやり方を試してみよう、実験してみようという提案。新しいマインドセット。

自立的な学校、自立的な生徒。共同体があって、みんなとつながっている中で、自立するということ。信頼関係が、公正な教育現場を作るのに大切。

[杉山メモ]

フィンランドが過去に抱えた課題は、日本が現在抱えている課題と非常に似たようなものがあると感じました。学校現場、教員、学生、親、行政、政治全てのセクションで、共通のゴールを設定して道を考えていかねければいけません。激動の時代、こどもの将来のために大人が責任を持って準備を急いであげるということに、反対する人などいないと思います。具体的な提言を今後の展望編で書く予定です。

まとめ

ここまでまとめてきて、各国の教育関係者達が過去に悩んだこと、現在悩んでいること、将来に向けてやらなければいけないと思っていることが割と共通していることがわかると思います。向かうべき方向性は一致しているはず。あとは、スピード感の問題と、各国の個々の事情もありますが、とにかく我々が受けてきた教育をそのまま保守的に踏襲していればいいやというマインドセットが蔓延しているのであれば、それは一掃していかなければいけないと、強く思います。

で、めちゃくちゃ長くなったような気もするのですが、ワークショップ編、今後の展望編も頑張って書いていきますので、お時間のある時にご一読いただければ幸いです！



投稿者: 大阪市会議員 杉山みきと

大阪市東淀川区選出の大阪市会議員（大阪維新の会）。最先端ICT都市大阪を目指して活動中。IT企業を退職後、WEB制作系自営業、大阪市会議員秘書を経て当選。日本維新の会と大阪維新の会の広報局を兼務するIT担当。大阪維新の会大阪市会議員団総務副会長。今年度は財政総務委員会、一般決算特別委員会に所属。都構想戦略本部広報担当。 大阪市会議員 杉山みきと のすべての投稿を表示



大阪市会議員 杉山みきと / 2018年10月14日 / 活動報告, 視察

杉山事務所はここにあります！

スギヤマ

CONTACT

市政相談をする

SESSION

市政報告会の案内

OWNED MEDIA

杉山みきとからのお知らせ



大阪府東淀川区選出
大阪維新の会 大阪市議員
杉山みきと

第七回
ギャンブル教育
大阪府公職員 杉山みきと

「R(カジノを含む統合リゾート)」
を推進する国政議員から見て
賭博とギャンブルの違い
ギャンブル教育の必要性
賭博は「金」を稼ぐ
ギャンブルは「命」を稼ぐ

ギャンブル教育
■ 杉山みきと

Amazonで発売中
紙版：2000円
Kindle版：500円

【ワークショップ編】 Forword with Google for Education参加レポート

Google for Education

Forword

with Google for Education

October 11/12

ワークショップ編

いいね！ 0

ツイート

LINEで送る

先日のブログでも紹介した通り、Googleから日本人で初めての招待をいただき、「Forword with Google for Education」という教育イベントに参加してきました。速報としてYouTube市政報告会を行ったので、全体的な内容はこちらからどうぞ。

第3回YouTubeでやっちゃう市政報告会@アムステルダム ...



イベントの概要、そこで学んだこと、これからやろうと思っていることなどは既に速報としてYouTube市政報告会でお伝えしました。

書きたいことを自由に書き始めると長くなりすぎる懸念があるため、ブログでは

- ・ 時系列編
- ・ 講演内容編
- ・ ワークショップ編
- ・ 今後の展望編

の4つに分けて記事を書いていきます。

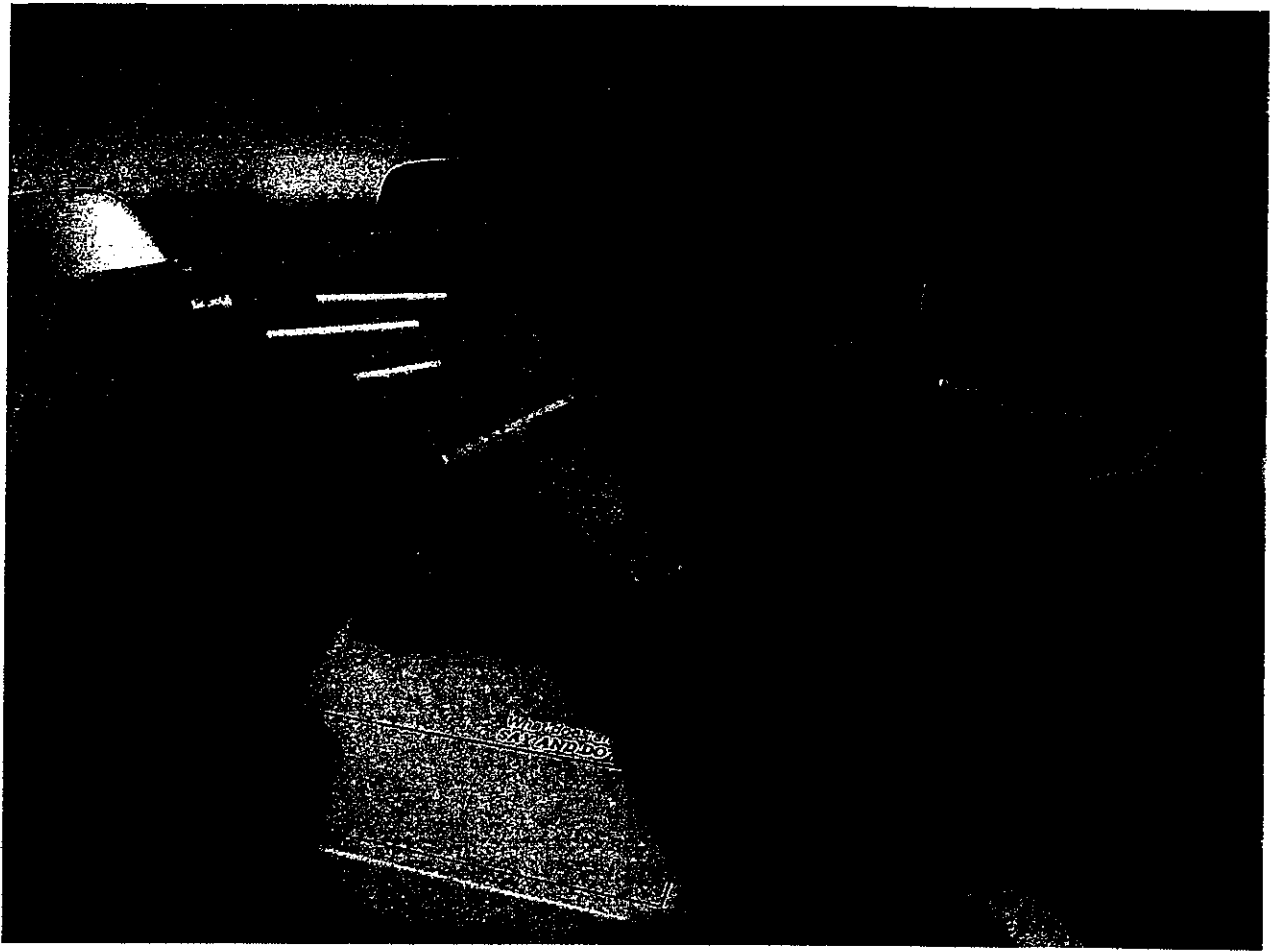
では、ワークショップ編のスタートです。

デザインシンキング

まず、テキトーに座ったテーブルのメンバーがグループメンバーとなりました。

僕のテーブルは、日本チーム3人とイタリアチーム3人の計6名。

ワークショップでは、同時通訳の人が同席してくれました。



お題を決める

チーム内で「10年後起こってそうなクレイジーな未来」というテーマについてポストイットに書いてください。というお題が出たので、書いていると・・・

司会者「はい、では右手を高くあげてください」

僕「ん？（右手ピーン!）」

司会者「もっと高く!」

僕「んんん・・・（右手ピーン!）」

司会者「椅子に乗ってまで高くあげている人もいますね、もっともっとお!!」

僕「くううう（右手ピーン!）」

司会者「はい、まだまだみなさんクレイジーな案を書けていませんね。」

僕「えっ」

司会者「では、今書いたポストイットは捨てて、もっとクレイジーな案を新しく書いてください」

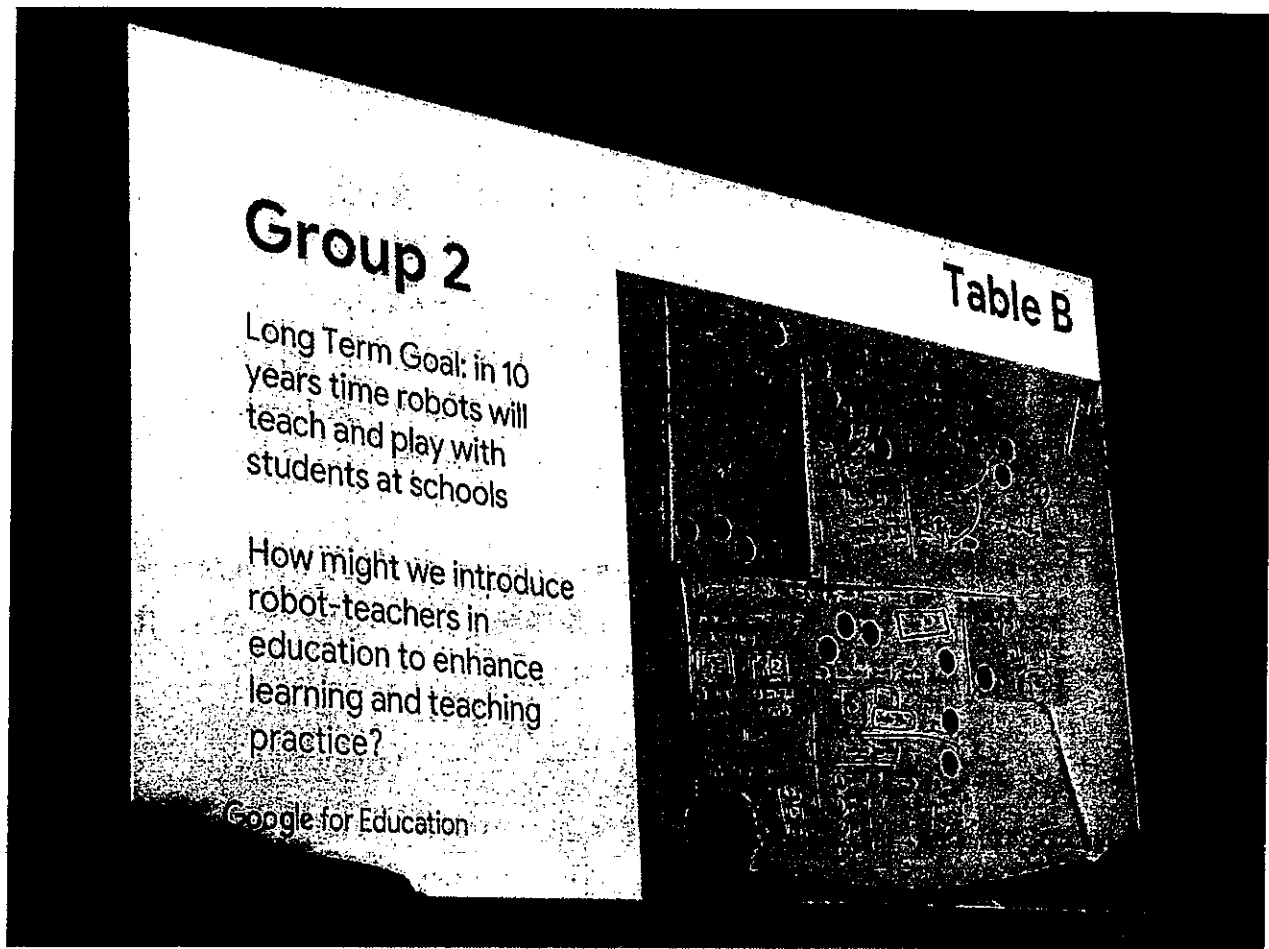
僕「（見てもないのに！？w）」

とまあ、紆余曲折あってチームメンバーがそれぞれ書いたポストイットを見て、イタリア人が書いてた「ロボットが教師となり授業を教えて、こどもとも遊ぶ」ってやつが選ばれました。これが我々のテーブルのテーマということになりました。

実現するために必要となるのは？

各テーブルで決めたお題について、実現するために必要と思われる要素を洗い出すという作業を指示されました。Googleドキュメント内、表が挿入されている部分をみんなの力で100個埋めろという無茶振り（しかも英語で）。僕が埋めれたの、4つぐらいだったと思います。（日本語でOKって言われても難しい）

で、みんなが埋めたやつをみんなで見、自分が良いと思ったもの（他の人が埋めたやつでもOK）をピックアップし、10年後のクレイジーな未来（お題）を実現するために必要なことを、A4の紙で説明してみよう！みたいな感じ。スケッチを交えて！ってのが条件だったので、絵心あんまりないけど頑張りました。



写真の左下のスケッチが僕のやつで、若干高評価でしたw
ちなみに僕がどんな内容のやつを書いたかというと・・・

10年後、ロボットが授業するということであれば、統一的な模範授業が確立されているべきだろうということで、

- 1.模範授業を決定する教員授業動画王決定戦を開き、各教科・単元ごとに模範授業動画を選出
- 2.選出された動画内に、プッシュポイントを細く設定し（わかったorわかってない）を生徒が選択しながら前に進めるようにする
- 3.機械学習（Yes or No方式）でその生徒の学習理解状況を管理
- 4.適切な案内を適宜行っていく

みたいな流れのやつを、スケッチと共に書いたというわけです。

プロトタイプを作る

で、ここからDay2になってるんですけど、各自が出したスケッチ説明を吟味し、実際にプロトタイプを作りましょうという指示がきました。

プロトタイプって、どのレベルまでやるの！？って不安に思っていたところ、Jonasという名の救世主が現れました。Day2ではDay1の時に所属していたテーブルに残る必要はなく、自分が興味を持ったテーマのテーブルに行ってOKというルールになっているのです。Jonasは、まさにこのテーマを追求している男で、ウキウキで我々のテーブルに来たというわけです。（なお、イタリア人が出したお題を採用してるのに、イタリア人チームは我々のテーブルから去っていましたwww てゆーかDay2にいなかった疑惑・・・笑）

で、とりあえずどの要素を含めてプロトタイプ作ろっか、って話になり、残念ながら僕のスケッチが選ばれてしまいました・・・笑 ロボット役無理やで！！て思ってたら、Jonasがノリノリでロボットを志願してくれました。マジナイス。

8 大体のプロトタイプの仕様は、こんな感じです。

1. ロボットはJonasがやる（受け答え等）
2. とりあえず模範授業は、カーン・アカデミーの動画を活用する
3. プッシュポイントは良いアイデアだけど、学生がボタンを押す必要はないのでは？という議論を経て廃止
4. 代わりに、表情から理解度を読み取る人工知能を搭載し、同様の機能を備える（すげーw）
5. ロボットの言語認識能力が低い段階でも運用できるように、学生が回答する内容を限定する
6. 上記理由から、教科を「化学」に絞った
7. 回答方法は、レゴブロックと輪っかを使って原子の構成を回答する方式にする
8. 正解ならOK、間違っていた場合はヒントを出す

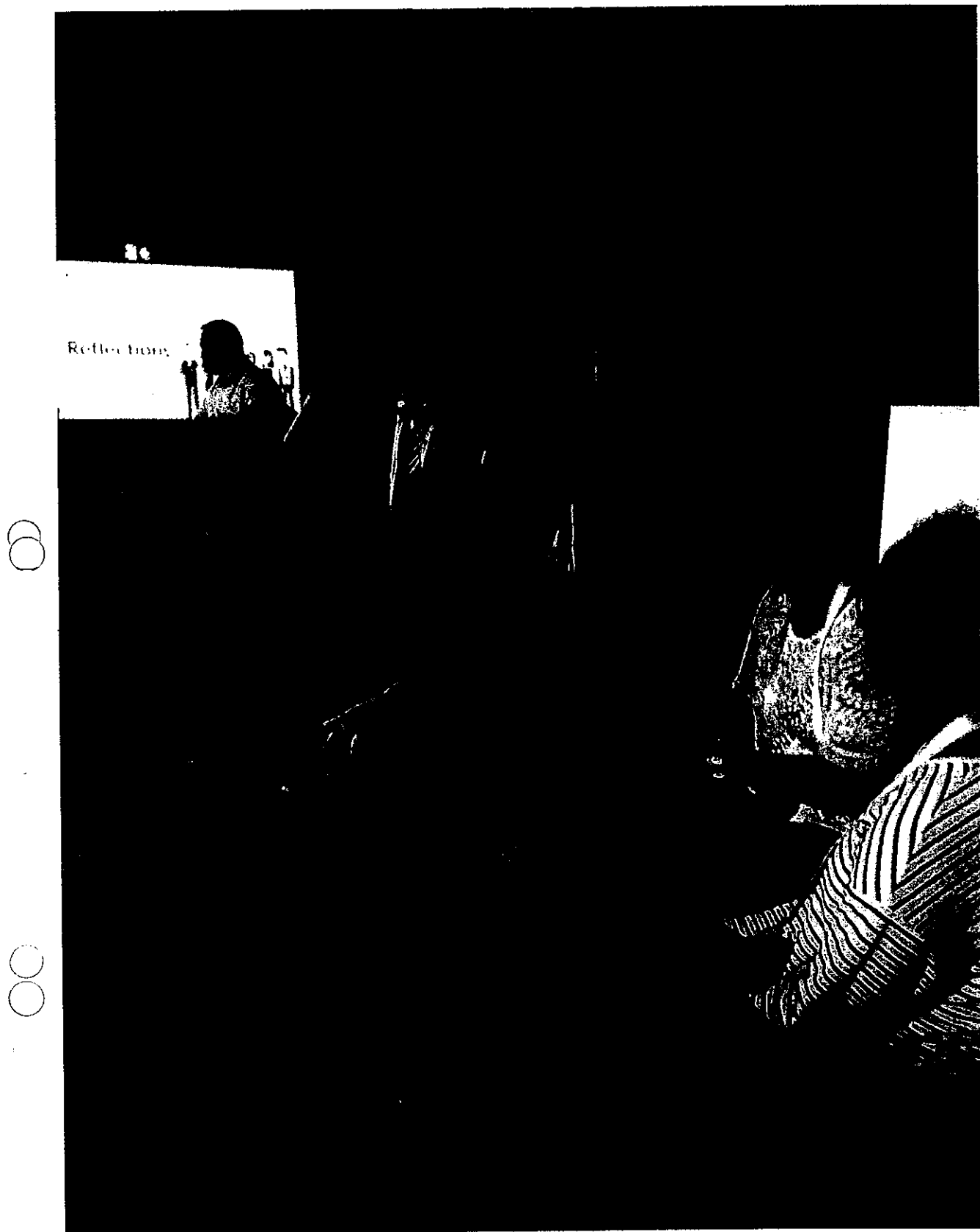
仕様を確定させ、Jonasは動画の準備、日本チームはレゴブロックと輪っか、Jonasに搭載するアンテナ的なものを作りましたw

実際に学生でテストし、フィードバックをもらう

なんだかんだでプロトタイプが完成し、学生に試してみましたw
動画を見ている様子。



問題の説明を受けている様子。



またまた別の学生にテストしている様子。



まあこんな感じで色々試しまして、フィードバックを貰いました。この写真の相手は学生じゃなくて、他のテーブルから面白そうとやってきた今回のイベントの参加者ですがw



で、どんなフィードバックがあったかと言うと、

- ・言葉でも判定できるようになればいいなあ
- ・学びたい時にいつでも学べていいよね
- ・言語の壁を超えられるよね、便利！
- ・10年後には実現してそう！
- ・知識をつけるのには良いけど、社会性を養うのは難しそうだね
- ・学生にセンサーつけて心拍数とか発汗とかわかれば更に状況把握できるね
- ・教科によって実現難易度が変わってくるね
- ・生徒とのエンゲージメント向上のために、顔認識したら「あなた今難しそうな顔をしてますね」とかを、あえて発言させたほうがいいね

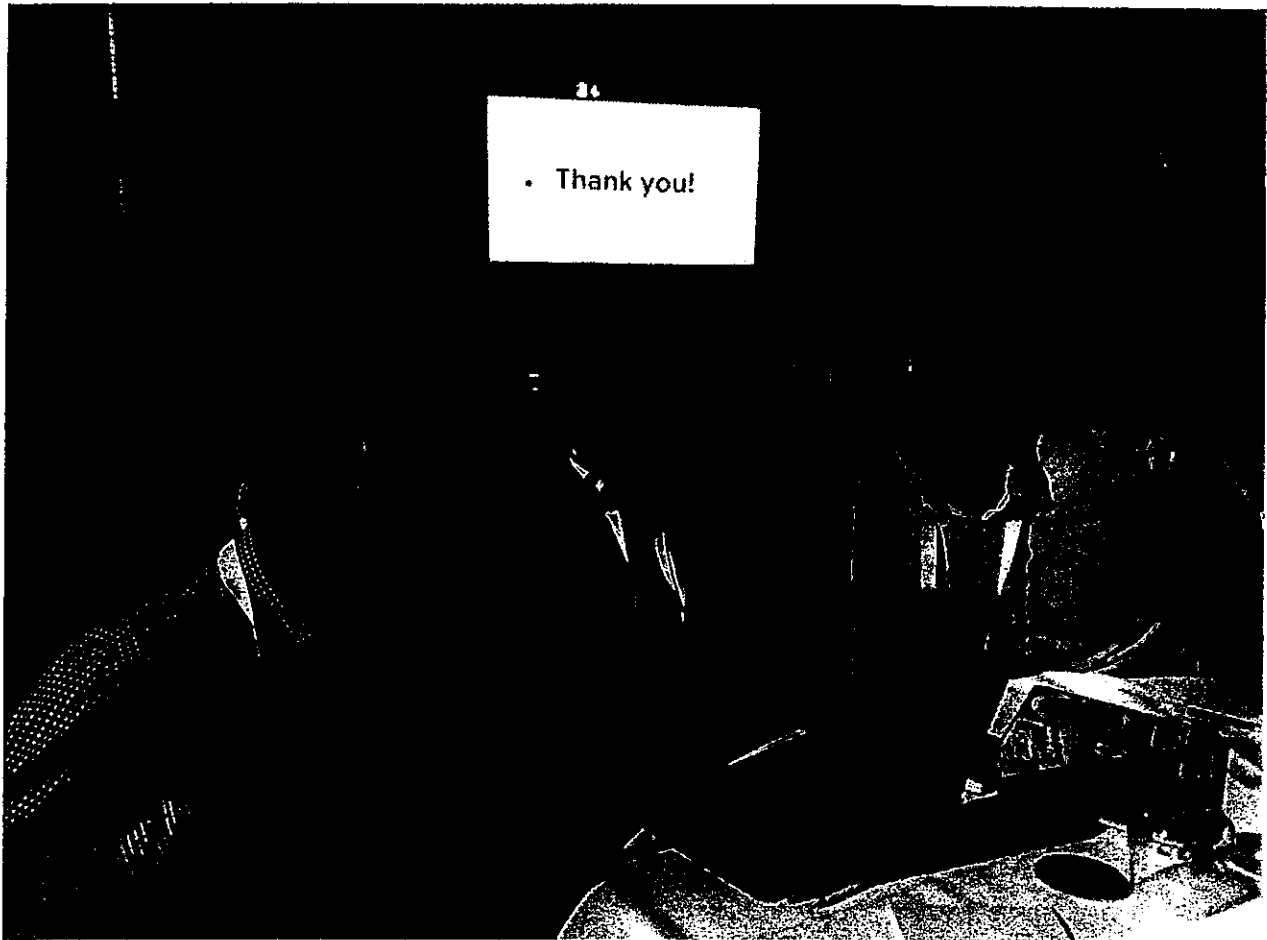
などなど、こんな急ごしらえのプロトタイプに割とガチなフィードバックが集まりましたw

まずは作ってみる精神

このワークショップは、あえて時間を足りなくさせてるんだという説明がありました。新しいものを創造する際、成功するのか失敗するのかなんてわからない、正解はない。だからこ

そ、とにかく知的な失敗を重ねていくことが大事（インテリジェンスリスクテイキング！※講演内容編で非常に大事だと言われていたスキル）、スピード感が大事。それを身をもって体験するというワークショップでした。

たしかに、どんどんフィードバックもらったほうが、完成に向けて確実に早く近づいていきますよね。楽しかったです。



というわけで、Jonasのファインプレーにより乗り切ることができた感満載のワークショップでした。

こういう手法は既に日本の民間企業でもかなり前から取り入れられていると、一緒に参加した徳田市議が言っていましたが、その割に僕はこういう教育は受けてこなかったなあと思うと、教育現場で培おうとしているスキルと一般社会が求めるスキルが乖離しているのかなあと感じます。そこのギャップを埋めて、こども達が社会に出た時に即通用するようなスキルを教育で与えてあげたいですね。

次は、今後の展望編です。

頑張って書いていきますので、お時間のある時にご一読いただければ幸いです！

スギヤマ

CONTACT
市政相談をする

SESSION
市政報告会の案内

OWNED MEDIA
杉山みきとからのお知らせ



大阪府東淀川区選出
大阪維新の会 大阪府議会議員
杉山みきと

第2巻
ギャンブル教育
杉山みきと

「ギャンブル教育」シリーズ
1. ギャンブルの歴史と文化
2. ギャンブルの経済学
3. ギャンブルの社会学
4. ギャンブルの心理学
5. ギャンブルの法制度
6. ギャンブルの国際比較
7. ギャンブルの未来展望

ギャンブル教育
杉山みきと

Amazonで発売中
紙版：2000円
Kindle版：500円

【今後の展望編】 Forword with Google for Education参加レポート

Google for Education

Forword

with Google for Education

October 11/12

今後の展望編

いいね！ 0

ツイート

LINEで送る

先日のブログでも紹介した通り、Googleから日本人で初めての招待をいただき、「Forword with Google for Education」という教育イベントに参加してきました。速報としてYouTube市政報告会を行ったので、全体的な内容はこちらからどうぞ。

第3回YouTubeでやっちゃう市政報告会@アムステルダム ...



イベントの概要、そこで学んだこと、これからやろうと思っていることなどは既に速報としてYouTube市政報告会でお伝えしました。

書きたいことを自由に書き始めると長くなりすぎる懸念があるため、ブログでは

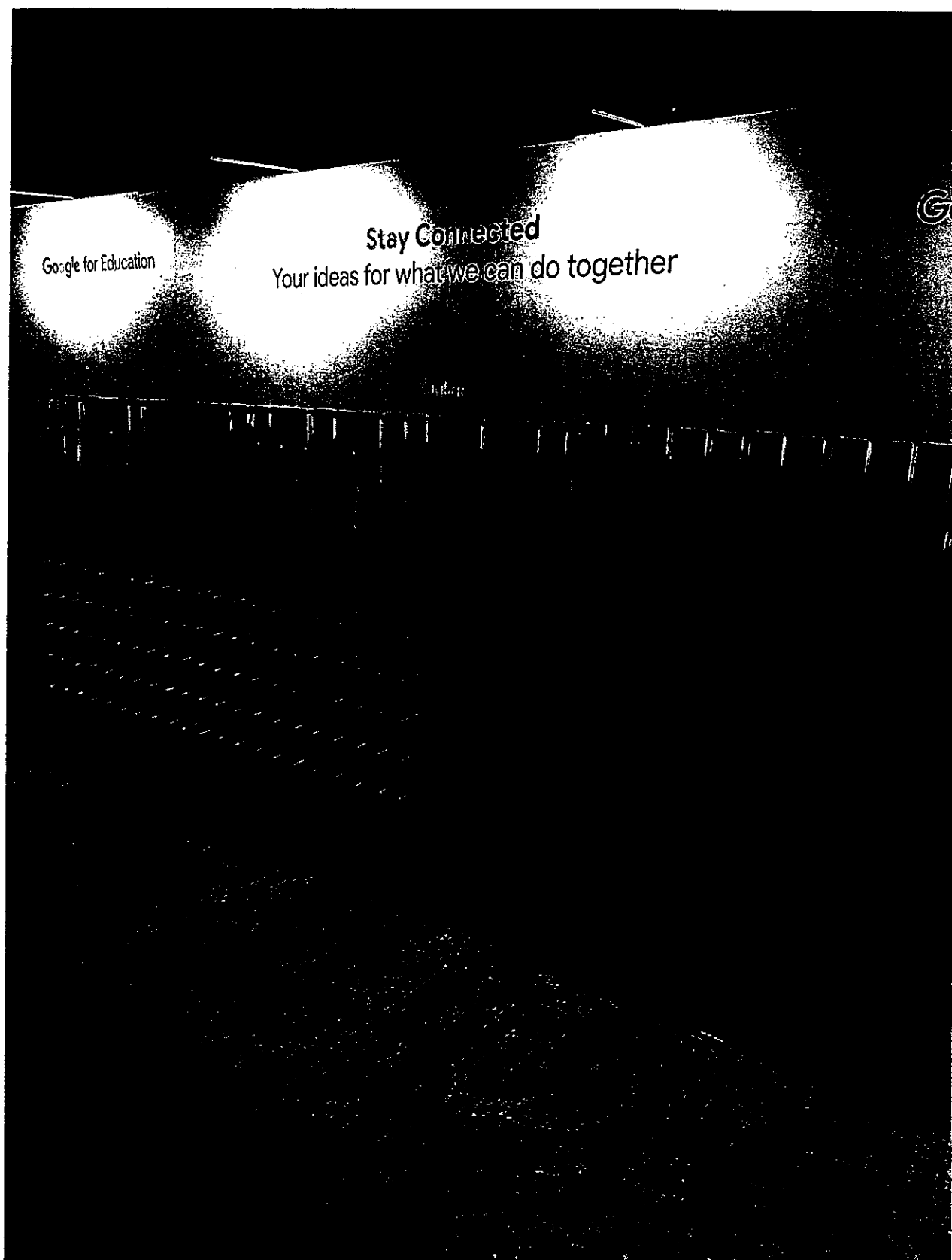
- ・ 時系列編
- ・ 講演内容編
- ・ ワークショップ編
- ・ 今後の展望編

の4つに分けて記事を書いていきます。

では、今後の展望編のスタートです。

今回得た知見を、どう扱っていくか。まずは、やはり大阪市の教育にどれだけ影響を与えられるかというところですね。

今回のイベントに求めていたことと、その成果



各国の教育関係者から、様々な共通認識を共有していただきました。

特に、「時代が変化し続けている中で、こどもに与える教育は我々が受けてきたものと同様で良いのか」という点については、参加前から僕自身ずっと疑問に思っていることで、これに対するアンサーを求めて長時間フライトに耐えたといっても過言ではありません。

特に、

子どもたちにとって大切なのは、我々の過去を知ることではない。広がっているバーチャルの世界に生きていくんだから、デジタル時代の中でどのような教育をしていくべきなのか。我々の過去を教えるのではなく、子ども達の未来を教えるべき。学生の将来のために備えてあげる。75%の今の職場はなくなっている。我々はロボットを教育するのではなく、ファーストクラスの人間を教育する。AIに足りない部分を人間に教育するということ。こういう世界に向けて、我々は準備をしていくべき。若者の中でも、明日の世界への準備ができていない子が多い。社会のスピードは加速している。テクノロジーがあるから、世の中がどうなっていくかを考えなければならない。テクノロジーと教育の競争が国レベルで始まっている。テクノロジーは今後どんどん伸びるので、次の時代はテクノロジーを考案できる教育が必要になる。

このあたりの言葉は僕の心をグサグサと刺します。ほんと、素晴らしいアンサーです。

あと、

ナレッジ、スキル。これは明日へ向けて必要なものであることは間違いない。しかし、ナレッジは補完することができるようになっている時代だ。私は、とりあえずわからないことがあったらググれと生徒に言う。ほとんどの知識と情報というのは学校の壁の外にあるのである。歴史や年号などは重要ではない。社会への洞察力が重要。いかに使いこなすか、という力が大事。他の人と連携して働くことができる、情緒的なスキル。勇気、リーダーシップのような能力。ソーシャルスキル。これが非常に大切になってくる。

このへんも、すごく良いなと思いました。

いかにして政策提言していくか

ただ保守的に、これまでのことを繰り返すのではない。新しいものを取り入れて、古いものを切り捨てる。そういう政策を、政治家が推進していかなければならない。